

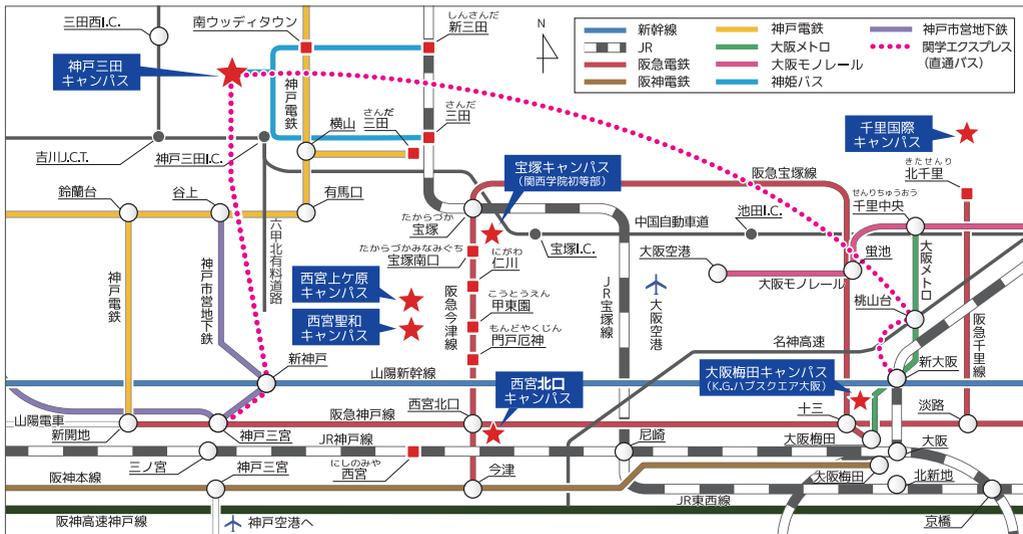
KWANSEI GAKUIN

2020-2021 関西学院案内

C O N T E N T S

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|------------------|
| 2 Kwanseï Grand Challenge 2039 | 15 関西学院高等部 | 30 教育研究施設 |
| 4 関西学院のめざすところ | 16 関西学院千里国際中等部・高等部
大阪インターナショナルスクール | 32 研究推進社会連携機構 |
| 5 理事長・院長・学長メッセージ | 17 聖和短期大学 | 34 キャリアデザイン・就職支援 |
| 6 建学の精神・歴史 | 18 関西学院大学学部紹介 | 36 生涯学習 |
| 8 校名・校章 | 20 関西学院大学大学院研究科紹介 | 37 学生支援 |
| 9 関西学院の学校間協力連携 | 22 「スーパーグローバル大学創成支援」事業 | 38 組織図 |
| 10 関西学院の構成 | 23 国際教育 | 40 データ |
| 12 関西学院幼稚園 | 27 教育 | 45 キャンパス |
| 13 関西学院初等部 | 29 共同学習スペース | 46 関西学院の広報活動 |
| 14 関西学院中学部 | | 47 関西学院のネットワーク |

アクセスマップ



アクセス方法

● 西宮上ヶ原キャンパス

阪急甲東園駅から徒歩12分もしくは阪急バスにて約5分（「関西学院前」下車）

阪急仁川駅から徒歩12分

JR西宮駅から阪急バスにて18分（「関西学院前」下車）

● 西宮聖和キャンパス

阪急門戸厄神駅から徒歩13分

西宮上ヶ原キャンパスから徒歩10分

JR西宮駅から阪急バスにて約18分（「上ヶ原二番町」〔関西学院大学西宮聖和キャンパス前〕下車）

● 神戸三田キャンパス

JR新三田駅から神姫バスにて約15分（「関西学院大学」下車）

神戸電鉄南ウッディタウン駅から神姫バスにて約9分（「関西学院大学」下車）

JR三ノ宮駅から神姫バスにて最速48分（「関西学院前」下車）※途中新神戸駅を經由

JR新大阪駅から最速59分（「関西学院大学」下車）※大阪梅田発・経由のバスもあります

三田西I.C.から車で5分、神戸三田I.C.から車で約15分

● 西宮北口キャンパス

阪急西宮北口駅 東改札口すぐ（阪急西宮ガーデンズ ゲート館内）

● 宝塚キャンパス（関西学院初等部）

阪急宝塚駅から徒歩15分

阪急宝塚南口駅から徒歩10分

JR宝塚駅から徒歩15分

● 千里国際キャンパス（関西学院千里国際中等部・高等部、関西学院大阪インターナショナルスクール）

地下鉄御堂筋線・北大阪急行千里中央駅から阪急バスにて約25分

阪急北千里駅から阪急バスにて約15分

● 大阪梅田キャンパス



阪急梅田駅茶屋町口から北へ徒歩5分（アプロースター 10階・14階）

● 東京丸の内キャンパス



JR東京駅八重洲北口から徒歩1分（サビアタワー 10階）



www.kwansei.ac.jp



西宮上ヶ原キャンパス

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL.0798-54-6017（広報室）

西宮聖和キャンパス

〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山7-54

TEL.0798-54-6000（聖和キャンパス事務室）

神戸三田キャンパス

〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1

TEL.079-565-7600（神戸三田キャンパス事務室）

西宮北口キャンパス

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町5-22 阪急西宮ガーデンズ ゲート館

TEL.0798-54-6017（広報室）

大阪梅田キャンパス（K.G.ハブスクエア大阪）

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプロースター 14階

TEL.06-6485-5611（大阪梅田キャンパス事務室）

東京丸の内キャンパス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー 10階

TEL.03-5222-5678

宝塚キャンパス

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27

TEL.0797-81-5500

千里国際キャンパス

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西4-4-16

TEL.072-727-5050

Kwansei Grand Challenge 2039

新基本構想 から「Kwansei Grand Challenge 2039」へ

2008年度に策定された「新基本構想」(2009-2018)は多くの成果を生み出し、特に国際学部開設と相まって国際化が大きく進展したことで、2014年度に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の採択に結びつきました。

2017年度には次期将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を策定し、創立150周年を迎える2039年を見据えた関西学院のありたい姿・あるべき姿を示す「超長期ビジョン」と、それを実現するための前半10年間(2018-2027)の方向性「長期戦略」を示しました。

本構想は「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成」というミッションに基づき、園児・児童・生徒・学生にどのような知識・能力・資質をどのような方法で身につけさせるのか、そのためにはどのような学校であるべきなのか、を主題においてまとめました。

超長期ビジョンは「教育理念」「学士課程教育」「大学院教育」「研究」「総合学園と一貫教育」「産官学連携」「国際化」「学校経営」の8つのカテゴリーに分けて策定し、長期戦略は41のテーマを設けて記しています(次頁参照)。

2020年度は、長期戦略を具体化するための中期総合経営計画として、大学全体と各学部・研究科、各学校が作成した120を超える実施計画を実行いたします。

将来構想の全体像

Kwansei Grand Challenge 2039



中期総合経営計画

(2018年度以降に策定)

学院全体の実施計画(2019-2027)

大学の実施計画

大学全体の実施計画

各学部・研究科の実施計画

各学校の実施計画

基盤計画(2018-2027)

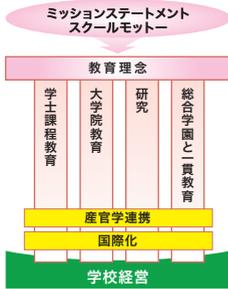
財政計画

人事計画

建設計画

情報化計画

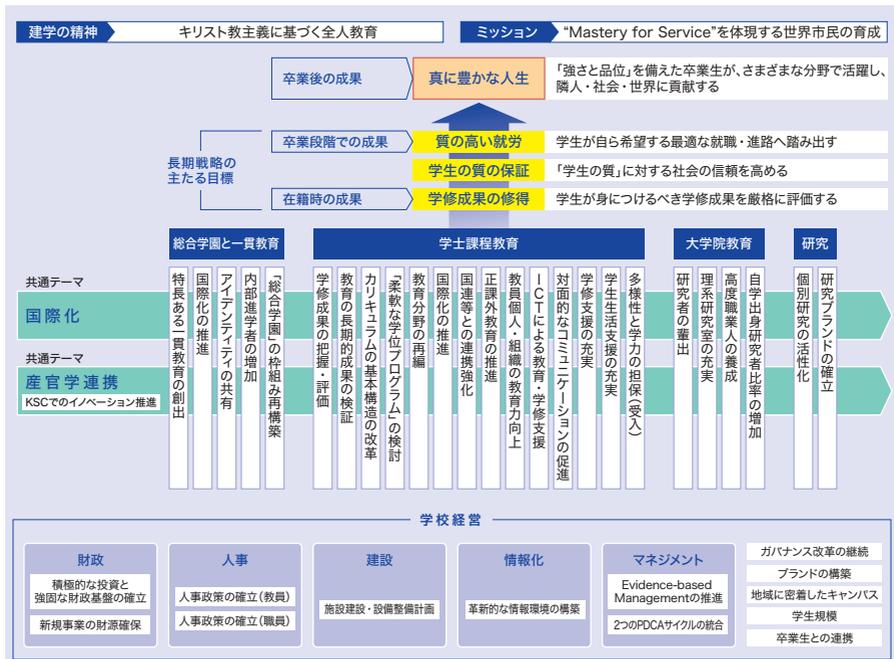
超長期ビジョン 構造図



教育理念：世界的課題の解決に挑む、「強さと品位」を持った人間を育てる
 学士課程教育：社会や世界に貢献して「真に豊かな人生」を送るための基盤を創る
 大学院教育：研究者と、社会から求められる高度職業人を輩出する
 研究：競争的環境により、「世界トップレベルの研究」を創り出す
 総合学園と一貫教育：建学の精神を共有し、幹の太い総合学園を実現する
 産官学連携：産官学の連携強化により教育・研究のブランドを高める
 国際化：伝統ある「国際性」を卓越したレベルに進化させる
 学校経営：ガバナンス改革を進め、総合的なマネジメントを実現する

長期戦略の全体像と主たる目標

人生の目標を抱き、高い知識・技能とともに、自らを律する「強さ」と、誠実さ・思いやりなど人格としての「品位」を兼ね備え、隣人・社会・世界に貢献する。——関西学院の教育の最終目標は、卒業生がそうした「真に豊かな人生」を送ることにあります。そのためには、学生は社会で活躍するための知識・能力・資質を卒業までにしっかりと身につけ（学修成果の修得）、大学はそれを保証する仕組みを確立し（学生の質の保証）、その信頼性の高さによって学生は自らが望む就職・進路を実現させる（質の高い就労）。すべての長期戦略をこの目標に向けて収斂させます。



関西学院のめざすところ

ミッションステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育てることを使命とします。

Kwansei Gakuin, as a learning community based on the principles of Christianity, inspires its members to seek their life missions, and cultivates them to be creative and capable world citizens who embody its motto, “Mastery for Service,” by transforming society with compassion and integrity.

スクールモットー “Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

“Mastery for Service,” the school motto of Kwansei Gakuin reflects the ideal for all its members to master their abundant God-given gifts to serve their neighbors, society and the world.

Kwanseiコンピテンシー

すべての学生が身につけるべき
知識・能力・資質

関西学院大学では、すべての学生が卒業時に学部の特徴なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」として定め、これを大学の教育に通底するものとして位置付けています。



めざす大学像

ラーニングコミュニティ

〈垣根なき学びと探究の共同体〉の実現

ラーニングコミュニティ

関西学院大学は、キリスト教主義に基づく〈垣根なき学びと探究の共同体〉をめざし、全人的な教育と創造的な研究により、有能にして心温かい世界市民を社会に送り出すことを使命とします。

SDGs推進への取り組み

SDGsへの貢献を通じてスクールモットーを実践

関西学院はSDGsに関する取組の総称を「“Mastery for Service” for SDGs Initiatives」と銘打ち、SDGsの達成に向けての取組を、学院を挙げてスクールモットーを実践する機会ととらえて積極的に展開しています。2019年度には全学組織としてSDGs推進本部を立ち上げ、教育、研究、経営という大学の営み全体を通じての貢献を本格化させています。「関西学院大学SDGs宣言」や取組状況は、特設ホームページ(<https://kcg2039.jp/sdgs/>)で随時公開しています。ぜひご覧ください。



関西学院は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

理事長・院長・学長メッセージ



平松 一夫 理事長

1889年(明治22年)に創立された関西学院は2019年、創立130周年を迎えました。また、キャンパスが神戸・原田の森から西宮・上ヶ原に移転してから90周年を迎えました。

創立者ランパスは、創立時に、関西学院が今日ミッションステートメントに掲げるキリスト教主義教育と世界市民の育成という教育の理念を示しました。その後、関西学院の第4代院長となったベーツは、“Mastery for Service”というスクールモットーを掲げるとともに、ビジネス教育と正課外教育を重視した教育の実践を通じて、関西学院が飛躍的に発展するための基礎を築きました。私たちは、今日においてもしばしば、初期におけるこれら2人の指導者の理念を思い起こし、関西学院の教育において守るべきものを確認しているところです。

しかし、一方で、教育を取り巻く環境は、今日、劇的に変化しています。わが国における人口の減少、世界におけるグローバル化・ICT化の進展などは、毎日のように耳にするところです。関西学院では、村田治学長・副理事長(企画担当理事)を中心に全教職員力を結集して、創立150周年を迎える2039年を見据えた関西学院のありたい姿・あるべき姿を示す「超長期ビジョン」として「Kwansei Grand Challenge 2039」を取りまとめました。

教育を取り巻く環境が激変する中において、私は、関西学院の理事長として、この「Kwansei Grand Challenge 2039」に基づいて今後の関西学院の経営、教育、研究等の舵取りを行う所存です。特に、ガバナンスと財務に内なる配慮を払い、同窓会・産業界には連携についての協力をお願いしつつ、一定の成果を達成したいと考えております。皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

1970年関西学院大学商学部卒業。1975年大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。同年、商学部専任講師、1985年同教授。2002-2008年学長。現在、関西学院大学名誉教授、Satya Wacana Christian University 名誉博士。日本学術会議第20-21期会員、日本会計研究学会会長、世界会計学会会長、企業会計審議会会長等を歴任。



舟木 讓 院長

2019年に130周年を迎えた関西学院は、創立当初19名の生徒から始まり、現在、幼稚園から大学・大学院、そしてインターナショナルスクールという多様性に満ちた総合学園としての歩みが続いております。在校生は2万9千を超え、また2019年4月に開設した西宮北口キャンパスを加えて8つのキャンパス(西宮市に3つ、三田市、宝塚市、箕面市、大阪梅田、東京丸の内)を有する学校へと成長いたしました。さらに国内外の23万人余りの同窓生が、国内91、海外29の計120支部で国際的な連携と活動を続けています。

創立者W.R.ランパス宣教師は、上海で生を受け、アメリカで教師と医師の資格を得た後、宣教師・医師として中国から始まり日本、ヨーロッパ、アフリカ、シベリア等で国際的な活動を晩年まで続けました。その墓碑には「世界市民としてのキリストの使徒」との文字が刻まれ、その意志を受け継いだ関西学院は、国や民族といった様々な「隔て」を乗り越え、この世界の多様性を尊重して働く人々の育成に力を注いでいます。

また1929年に「大学昇格」を目指して西宮上ヶ原キャンパスに移転した際、当時の院長で関西学院のスクールモットー「Mastery for Service」を提唱したC.J.L.ベーツ第4代院長(後に初代学長も兼務)は、垣根がなかったキャンパスを前に「We have no fence」という言葉も残されました。この言葉は、物理的な垣根の存在の有無だけでなく、この世界の多様性と互いの存在を認め、すべての人々の存在と尊厳が守られる世界の創造へと献身する精神を示しています。多くの「垣根」や「壁」が築かれ、多様性を否定する方向に向かっている今日、関西学院はその背後にある「敬意や憎悪の隔て」を取り除くため、折りをもって様々な取り組みに挑戦し、世界を良き方向へと変革する働きを今後も続けたいと願っております。

1988年関西学院大学神学部卒業、1990年大学院神学研究科博士課程前期課程修了。日本基督教団京都市御幸町教会担任教師、同神戸栄光教会担任教師を経て、1998年関西学院大学経済学部助手・宗教主事、2013年経済学部教授・宗教主事。大学宗教主事、宗教総主事を経て、2019年4月から第17代院長。



村田 治 学長

初代学長C.J.L.ベーツは、建学の精神を“Mastery for Service”(奉仕のための練達)というスクールモットーとして提唱しました。そして“Mastery for Service”の言葉に続けて、“We do not desire to be weakeings. We aim to be strong, to be masters.”と説き、自己を修養するために強くあれ、自分の利益のためにだけではなく、世界人類のために、自分を鍛え強くあれと訴えました。

大学時代に、どのように自己を修養していけばよいのでしょうか。

ひとつは、何が問題であるのかということ意識することです。ある事柄が問題を孕んでいるかどうかを見極めるには自分の中の物差し、言い換えれば、世界観が必要です。大学での学びは、自分自身の世界観を構築するための準備であると位置づけられます。

大学での学びでもう一つ重要なことは、卒業してからも学び続ける基礎を養うことです。世界の動きはめまぐるしく、大学で学んだ知識はすぐに陳腐化します。新しい知識と情報を絶えず身につけていくことが必要であり、そのためには、専門分野の研究対象を科学的に調べ一定の結論を導く思考法(科学的思考法)を体得しておくことが極めて重要となります。

この世界観や科学的思考法を身につけるためには、粘り強い学習とたゆまぬ訓練が必要です。持続的な学習と訓練には、大きな努力と忍耐を伴います。粘り強い学習と訓練をおして自己を修養し、“Mastery for Service”を体現する世界市民に成長していったらいいと願います。

関西学院大学経済学部卒業、同大学経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。経済学博士。マクロ経済学、景気循環論専攻。教務部長、経済学部長、高等教育推進センター長を経て2014年4月より関西学院副理事長及び関西学院大学長。2016年より日本私立大学連盟副会長。2017年より中央教育審議会委員。

建学の精神・歴史

略年史

- ◆ 1889 神戸の東郷・原田の森に神学部と普通学部を持つ関西学院を創立「関西学院憲法」起草
- ◆ 1891 神学部から第1回の卒業生3人が出る
- ◆ 1894 新月の校章を制定
- ◆ 1912 高等学部(文科・商科)を開設後に第4代院長となるC.J.L.ベーツがスクールモットー“Mastery for Service”を提唱
- ◆ 1915 普通学部を中学部と改称
- ◆ 1918 ハミル館開設
- ◆ 1921 高等学部が文学部と高等商業学部となる
- ◆ 1929 上ヶ原(現西宮市)に移転
- ◆ 1932 「大学令」により関西学院大学の設立認可大学予科開設
- ◆ 1933 校歌「空の翼」発表
- ◆ 1934 C.J.L.ベーツが初代学長を兼務大学法文学部と商経学部開設
- ◆ 1943 専門部神学部が閉鎖され、日本西部神学校に統合される
- ◆ 1946 大学の機構を改め、文学部、法学部、経済学部の3学部とする
- ◆ 1947 新学制により中学部開設
- ◆ 1948 新学制により大学、高等部開設
- ◆ 1951 商学部開設
- ◆ 1952 文学部神学科を独立させ神学部開設
- ◆ 1960 社会学部開設
- ◆ 1961 理学部開設
- ◆ 1964 スポーツセンター開設
- ◆ 1970 「土曜オープンセミナー」開講
- ◆ 1976 情報処理研究センター開設
- ◆ 1979 国際交流センター開設
- ◆ 1990 地方入試開始
- ◆ 1992 言語教育センター開設セメスター制実施科目等履修制度実施経済学部オープン・カレッジ・コース設置大学院飛び級入学制度実施(商学研究科)大学自己点検・評価制度実施
- ◆ 1993 商学研究科にマネジメント・コース(昼夜開講制、社会人対象)設置
- ◆ 1994 大学設置基準大綱化に伴いカリキュラム改革
- ◆ 1995 総合政策学部を神戸三田キャンパスに開設
- ◆ 1996 大学基準協会相互評価に参加関西学院ホームページ開設経済学研究科にエコノミスト・コース(昼夜開講制、社会人対象)設置
- ◆ 1997 複数分野専攻制(MDS)導入
- ◆ 1998 関西学院大学ハイク・リサーチ・センター完成
- ◆ 1999 社会学部社会福祉学科開設大学院総合政策研究科開設
- ◆ 2000 K.G.ハブスクエア大阪(現・大阪梅田キャンパス)開設
- ◆ 2001 大学院言語コミュニケーション文化研究科開設理学部が神戸三田キャンパスに移転
- ◆ 2002 理学部が理工学部に名称変更理工学部生命科学科、情報科学科開設総合政策学部メディア情報科学科開設研究推進機構発足
- ◆ 2003 文学部を文化歴史学科、総合心理科学科、文学言語学科の3学科に再編東京オフィス開設
- ◆ 2004 専門職大学院司法研究科(ロースクール)開設大学院理学研究科が理工学研究科に名称変更日本初のジョイント・ディグリー制度を実施アジア初の国連ボランティア計画との協定に基づき学生を途上国に派遣学生支援センター開設
- ◆ 2005 専門職大学院経営戦略研究科(経営戦略専攻・会計専門専攻)設置災害復興制度研究所創設ライフデザイン・プログラム導入
- ◆ 2006 国連難民高等弁務官駐日事務所との協定に基づき、日本で初めて難民を対象とする推薦入学制度設置
- ◆ 2007 東京丸の内キャンパス開設難民を対象とする推薦入学制度による学生受け入れ開始
- ◆ 2008 経済・法学部連携「地域政策コース」新設人間福祉学部・人間福祉研究科開設初等部開設経営戦略研究科に先端マネジメント専攻(博士課程)設置
- ◆ 2009 学校法人聖和大学と合併教育学部・教育学研究科開設総合政策学部都市政策学科、国際政策学科増設理工学部に数理科学科、人間システム工学科、生命科学科に生命科学専攻と生命医化学専攻を設置社会学部が5コースから3系7領域へ拡充
- ◆ 2010 学校法人千里国際学園と合併国際学部開設
- ◆ 2011 Cross-Cultural-College(平成23年度文部科学省 大学の世界展開力強化事業)採択
- ◆ 2012 実践型“世界市民”育成プログラム(平成24年度文部科学省 国際化拠点整備事業補助金)採択
- ◆ 2014 創立125周年国際学研究科開設グローバル・アカデミック・ポート(平成26年度文部科学省 スーパーグローバル大学創成支援事業)採択
- ◆ 2015 理工学部に先進エネルギーナノ工学科、環境・応用化学科、生命医化学科開設
- ◆ 2017 国連・外交プログラム/国連・外交コース開設
- ◆ 2019 西宮北口キャンパス開設(専門職大学院司法研究科移転)
- ◆ 2021 神戸三田キャンパス2学部から5学部へ(理学部、工学部、生命環境学部、建築学部、総合政策学部)※2021年4月開設



創立者 / W.R.ランバス(1854～1921)
医療宣教師として中国で働いたのち、日本伝道の責任者として来日。日本をはじめオーストラリアと南極以外のすべての大陸で伝道・教育活動を積極的に行い、その足跡は遠くアフリカのコンゴまで及んでいる。

世界市民、創立者ランバス

関西学院は、伝道者の育成とキリスト教主義に基づく青少年教育をめざし、1889年にアメリカ・南メソヂスト監督教会の宣教師W.R.ランバスによって創立されました。ランバスは、「世界市民にしてキリストの使徒」というランバス家の記念碑銘どおり、グローバル・サーバント(世界への奉仕者)としての生涯を送りました。今日、関西学院は、「世界市民」というランバスの生き方を現代に受け継ぎ、積極的に国際交流・国際貢献に取り組んできました。2020年現在、関西学院大学の外国人学生は約700人、協定を締結している海外の大学は約270校。こうした環境のもとで、2019年は1833人の学生が国際教育プログラムを体験しました。広い教養と高い専門性を持ち、世界的に社会貢献する人間を育成しています。

キリスト教主義教育

キリスト教主義を建学の精神とする関西学院は、創立者ランバスが実践した「世界市民」として生きる人間の育成を強く意識しています。関西学院大学の1年生の必修科目である「キリスト教学」、毎日開かれている「チャペルアワー」などを通じて、キリスト教を学ぶ機会が充実。世界的な広い視野と価値観を持って活躍できる人間形成への営みが、キャンパスのいたるところで展開されています。

スクールモットー“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットーである“Mastery for Service”は、第4代院長(初代高等学部長そして初代大学学長)である、ペーツの提唱によるものです。それが最初に紹介された1912年以後、校歌『空の翼』に歌われ、時計台のエンブレムに刻まれ、戦争や学生紛争の時代を越えて、関西学院の姿勢を端的に言い表すものとして今も繰り返し語られています。

マスターとは普通主人を意味しますが、関西学院では人間性、学び、生活においても完成された人格、ペーツの言葉でいう「Self-Master=自主」である人を意味します。サービスは、それをもとに関西学院のキリスト教主義的な理解では「神への奉仕」を原点として隣人、社会、他者に仕えて生きる人間のあり方を示すものです。

自らに与えられた人間的な豊かさ、それを自らが何ものにもとられないで、よりよき社会を創造するためにささげ用いてゆく生き方、それが「輝く自由、Mastery for Service」と関学人が歌い上げる私たちが求め続ける姿なのです。



第4代院長、初代学長 / C.J.L.ペーツ
1910年、カナダ・メソヂスト教会が関西学院の共同経営に参与すると同時に、関西学院に赴任。20年に関西学院第4代院長に就任し、20年間にわたり関西学院発展のために尽力し、学院の礎を築いた。32年に大学開設を果たし、34年には初代学長を兼務。

校名・校章



校章

新月が満月へ刻々と変化するように、関西学院で学ぶ者すべてが日々進歩と成長の過程にあることを意味しています。また月が太陽の光を受けて暗い夜を照らすように、私たちが神の恵みを受けて世の中を明るくしていきたいとの思いを表しています。

校名の由来

1889年創立当時、英和学校と名付けられるミッションスクールが多いなか、慣習を打破って学院とし、西日本の指導者となる意図を打ち込めて「関西」を冠しました。「関西」を「かんせい」（当時はクワンセイ）と読むのは、当時の進取革新的な気風から、漢音読みを採用したものです。現在も英文表記はKWANSEI GAKUINと漢音読みをベースとしています。

校歌「空の翼」 作詞／北原白秋 作曲／山田耕筰

風に思う空の翼
輝く自由 Mastery for Service
清明ここに道あり我が丘
関西 関西 関西 関西学院
ポプラは羽ばたくいざ響け我等
風 光 力 若きは力ぞ
いざ いざ いざ 上ケ原ふるえ
いざいざ いざ いざ 上ケ原ふるえ

伝統を今に伝えるヴォーリス建築

1905年に来日し、キリスト教の伝道活動とならんで1500件以上の建築物を残したW.M.ヴォーリス。彼はC.J.L.ベーツ第4代院長初代学長とともに、創立者ランバスの理想を実現することに注力し、西宮上ヶ原キャンパス設計にあたって、関西学院の個性と独自性を赤い瓦屋根とクリーム色の外壁が特色のスバニッシュ・ミッション・スタイルで表現しました。キリスト教主義の学校のあり方を象徴的に具現化したヴォーリス建築は、新しい校舎群にも継承されています。中央芝生のまわりにある時計台をはじめ、神学部、文学部、経済学部、商学部の校舎などは、現在も建築された当時の外観を残しています。



2014年9月には、創立125周年記念事業の一つとして、中央講堂（125周年記念講堂）が完成しました。ヴォーリスが設計した中央講堂の外観を踏襲しながらも、現代のホールとしてふさわしい機能や設備を盛り込むとともに建物の耐震性を高め、ラーニング commons も内包しています。また2017年、西宮上ヶ原キャンパスは、1929年の創建以来の設計思想を継承しながら、現在の大学に求められる施設の機能向上を的確に行ったことが評価され日本建築学会賞（業績）を受賞しました。2019年には、滋賀県に本拠を置く近江兄弟社グループと連携協定を締結し、「ヴォーリス記念館」の活用による町おこしなどハンズオン・ラーニングの場としての実践、学生のインターンシップ、ヴォーリス建築に関する共同研究、学校間交流、協定校推薦入学協定の検討などを進めていくことになりました。

関西学院の学校間協力連携

世代を超えて“Mastery for Service”の精神を受け継ぐ

関西学院では幼稚園から大学まで、お互いに関わりを持ちながら教育を行っています。先輩から後輩へ、世代を超えて“Mastery for Service”の精神を受け継ぐために、人の交流、教育の連携、施設の活用などを積極的に進めています。

人の交流 成長段階が異なる生徒・学生が学びあう

初等部の6年生が中学部を訪問するイベントのほか、初等部・中学部・高等部に関西学院大学の学生・大学院生を派遣し、スポーツ活動の指導やキャンプの引率、学習支援などを実施。学院内において、学校の垣根を越えた異なる年齢の交流を推進しています。



- 幼 × 大 × 大 学生ボランティア
- 初 中 高 × 大 大学生派遣(スポーツ活動協力)
- 初 × 中 生徒会役員交流
- 幼 × 大 大学生派遣(水泳教室指導)
- 初 千・中 千・高 × 大 大学生派遣(プログラミングワークショップ)
- 中 × 高 × 大 キャンプリーダー
- 初 × 大 大学留学生訪問交流
- 初 × 中 6年生親子中学部訪問
- 高 × 大 留学生多文化交流
- 初 × 中 生徒派遣(体育祭)

教育の連携 大学の授業を体験。教員の相互派遣も実施

中学部・高等部、千里国際中等部・高等部、大阪インターナショナルスクールの生徒たちが大学主催の各種コンテストに参加できるようにするなど、教育面でも連携を強化。さらに学院内において授業講師派遣も行っています。



- 幼 初 中 高 × 大 教育実習
- 中 × 大 オープンラボ(1日体験入学)
- 高 × 大 Spring-8見学会
- 幼 × 大 教員派遣(子育て支援事業)
- 中 高 × 大 大学生授業補助者派遣(補習授業)
- 高 千・高 × 大 高大連携(WWLコンソーシアム)
- 幼 × 中 × 高 × 大 授業講師派遣
- 高 × 大 授業受講(英語インテンシブプログラム)
- 高 千・中 千・高 × 大 KGビジネスプランコンテスト
- 初 × 大 授業研究
- 高 × 大 授業科目提供
- 高 × 千・高 高校生オールスターキャンプ、模擬国連

施設の活用 学院の諸施設の利用が可能

学院内の中学生以上の生徒・学生であれば、大学図書館を利用することができます。大学の諸施設や三田市にある千刈キャンプを利用した行事など、関西学院のスケールメリットを生かした教育を活発に実施しています。



- 中 高 イ 聖 × 大 大学図書館利用サービス提供
- 初 × 大 NISHIKITA CROSS(アフタースクール)
- 幼 初 中 高 イ 千刈キャンプ
- 千・中 千・高 × 大 中央講堂イベント

幼：関西学院幼稚園 中：関西学院中学部 千・中：関西学院千里国際中等部 イ：関西学院大阪インターナショナルスクール
 初：関西学院初等部 高：関西学院高等部 千・高：関西学院千里国際高等部 聖：聖和短期大学 大：関西学院大学

関西学院の構成

多文化が共生する国際性豊かなキャンパス

関西学院幼稚園

キリスト教教育の実践を通して
幼児期しかできない体験を

豊かな自然環境をはじめとする
愛情を感じる空間で、主体的な活動としての「遊び」を中心とした保育を行っています。



関西学院初等部

意思・知性・情操を育む
生きるための心と知恵を学ぶ

子どもたちが自らの意思を持ち、
社会や世界と調和して生きていく力を
育む教育を実践しています。



関西学院中学部

キリスト教・読書・英語・体育・芸術を柱に
「感謝・祈り・練達」を理念とした全人教育

これからの時代を生きる子どもたちのために、
受験勉強に縛られない、豊かな力を身につけます。
確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。



関西学院千里国際中等部(SIS)

国際色豊かな環境で最先端の教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環境の中で、
OISと一体となり、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して
世界に貢献する個人」の育成を図ります。



関西学院

大阪インターナショナルスクール
(OIS)

知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に
貢献する個人を輩出。主に日本在住の外国人生徒が学ぶ

多国籍の生徒・教職員がともに英語で学ぶ国際的教育環境で、
世界標準の教育プログラムを実施。卒業生の多くが海外を中心とした
著名な大学に進学しています。

関西学院高等部

生徒の創造性と自主性を伸ばす
大学で学ぶための学問的素地を培う

大学や社会に必要な学力を育成するカリキュラムを展開。キリスト教主義教育による人間性の陶冶。人権教育、課外活動を通して総合的な人間性を醸成します。



関西学院千里国際高等部(SIS)

中等部で作った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修

「5つのリスペクト」という行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時間割システムで学ぶ意欲を引き出します。



関西学院大学

国際社会に貢献する「世界市民」の一員として
“Mastery for Service”を実践する人材を育成

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を兼ね備えた、地域社会・国際社会の発展に寄与する「世界市民」の育成に力を注いでいます。



聖和短期大学

世界の子どもを幸せにする
実践力を持つ保育者を養成

少人数による授業、アドバイザー制度などきめ細かい教育を実施。専門性と実践力を持つ保育者を育てます。



関西学院幼稚園

愛情を感じ、喜びと感謝をもって日々を歩む キリスト教保育の実践

関西学院幼稚園は、1891年広島英和女学校(現、広島女学院)の附属幼稚園として創立したキリスト教主義の幼稚園です。神様から命、個性を託された一人ひとりの子どもたちを大切に守り育てるキリスト教保育を実践しています。

幼児期は、心身の発達が生きていく人生の中で最も重要な時期であり、人生の基礎を培う時です。子どもと関わる大人たち、子どもを取り巻く環境が、その後の成長に大きな影響を及ぼします。

関西学院幼稚園は、子どもたち一人ひとりに愛情ある関わりを行い、温かい雰囲気の中で、子どもたち一人ひとりが愛されていると感じとれる保育者の「まなざし」、「子どもへの関わり」を大切にしています。

子どもたちは「今」を生きており、「今」はかけがえないものです。一日一日の充実した経験、喜びが、未来の生きる力となります。幼児期の「今」しかできないことを、子どもたち一人ひとりが、「喜びをもって」、「主体的に」、友だちや保育者と「共に」経験できるように、関西学院幼稚園は遊びを中心とした保育を日々送っています。



関西学院幼稚園園長
赤木 敏之

充実した保育環境

◆ 心やすらぐ、ゆったりとした保育室

園庭の樹木に包まれて建っている園舎は、壁、床、窓枠など木の素材を使い、木材を基調として建物全体に落ち着いた色調と温もりを感じる家庭的な雰囲気が出るようにしています。発達に合わせて子どもたちの使う椅子、机、遊具・教材棚は、各学年で高さや配置も考慮しています。保育室前の木製デッキも園庭に繋がりをもたせています。また、異年齢の交流もできる多目的に使える場となっています。



◆ 園庭は森

園庭は森さながらの自然環境で、子どもたちは友だちと活発に遊び、大いに自然に触れて豊かに感性を育めるようになっていきます。備え付けの遊具は、自然の樹木を生かして作ったブランコ、ネット、滑車、木製支柱の雲梯、築山の起伏、木製の3棟の小屋、トンネルなどです。そして、さまざまな遊びを通して、走る、跳ねる、飛び越える、登る、降りる、ぶら下がる、揺れる、滑るなどの動きができるようにとえています。

豊かな自然環境が魅力の「森の園庭」

森の園庭は、関西学院幼稚園の一つの特徴です。起伏があり3000本ほどの樹木が植えられています。14種類のどんぐりの木、キンカン、ザクロ、ヤマグワ、ビワなどの食べられる実のなる木もあります。たくさんの野鳥や100種類ほどの昆虫も見られる豊かな自然環境です。そのような環境の中で、子どもたちは、木の実をつぶしてまごごとをしたり、虫取りをしたり、広い庭を駆け回って鬼ごっこやボール遊びをしながら感性を培い、健康な心身を育てています。

また、この園庭は、朝の8時30分から午後5時まで開放しており、園児のみならず、地域の未就園児の親子から小学生までが集える場所になっています。

関西学院幼稚園の園庭は、かつての子どもたちの遊び場・広場のように、異年齢の子どもたちが集う「子どもの庭」になっています。



関西学院初等部

はじめの一步

関西学院初等部は2008年、「宝塚」に開校しました。本校は、関西学院「小・中・高・大学」の一貫教育の「はじめの一步」を担い、垣根なき学びは世界に向かいます。

初等部では、あらゆる場面で人と人とのかわり合いを大切に、他者のために他者とともに自らを鍛え、他者とともに歩むことのできる子どもの姿を目指して日々の教育活動に取り組んでいます。

玄関で低学年の子が傘をたたむの手伝ってあげる高学年、時には転んでしまった1年生をおぶって登校する6年生、友だちの植木鉢にも水やりをしている2年生。

子どもたちは日々、人への思いやりや尊敬の気持ち、優しさ、友情といった目に見えないものの大切さを学んでいます。

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”の精神が、子どもたちの心に育まれていくのがわかります。

子どもたちはよく、口にします。

「早く明日にならないかな」「友だちといっばい遊びたい」「楽しい授業がある」

たくさんの豊かな体験を通じて、自分自身の存在の価値を、そしてみんなの大切さをいっばい、いっばい感じてほしい、そんなまなざしに溢れた関西学院初等部です。



関西学院初等部校長
田近 敏之



2008年4月、宝塚ファミリーランド跡地に開校された初等部

キリスト教主義に基づく全人教育

◆ 初等部聖句

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」

(意志)

(知性)

(情操)

ルカによる福音書2章40節

◆ めざす子ども像

《意志》 高い倫理と自立の精神を備えた子ども

《知性》 論理的に考え確かな学力を習得する子ども

《情操》 感性豊かで国際性を備えた子ども



キリスト教主義教育に基づくバランスのとれた人間教育を行っています

◆ 4つの柱

① 聖書・礼拝 (Bible)

聖書や礼拝の時間を通じて、人を思いやる気持ち、小さなことに感謝できる心を育みます。

② 国際理解 (Global)

英語力を高め、コミュニケーションを楽しみながら、異なる価値観の獲得を目指します。

③ 全員参加・理解 (Universal)

みんなで主体的に問題解決を図りながら、確かな学力の獲得を目指します。

④ 本物 (Authentic)

文化、スポーツ、芸術、自然に触れる機会を通じて、豊かな感性を育みます。

関西学院中学部

キリスト教に基づいた伝統ある全人教育を実践

中学部の正門に入ると、ややうつむきかげんに座っている白木真寿夫少年の像があります。海で溺れた従兄弟を助けるために自分の命を投げ出した彼の行いは、「友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない」という聖句と共に、今も中学部精神としてしっかりと受け継がれています。

「感謝・祈り・練達」というモットーを掲げる中学部は、神から与えられた命とタレント（賜物）に感謝し、祈りをもって自らを養い鍛える生徒を育てるべく、知徳体のバランスの取れた全人教育が特長です。

そして、いかなる状況にあっても人生に向き合っていく強さと、多様な世界で他者と共に生きていく思いやり、その根っこを太く深く張ってほしいと生徒に願っています。



関西学院中学部長
藤原 康洋

師弟同行にもとづく一貫教育

師弟同行は、中学部創設以来の伝統です。毎日の駆け足やマラソン大会、体育大会、野外でのキャンプ、またクラブ活動では、教員や大学生のコーチ、リーダーが生徒と共に一緒に汗を流します。共学化により日々刻まれる新しい伝統を大切に、謙虚さを重んじた自治活動、奉仕活動をさらに幅広く展開し、一人ひとりがおおらかに成長できる教育を目指します。そうして培った精神は、高等部や大学、そして社会に出てからも、リーダー的役割を果たしてくれるものと確信しています。



充実する教育施設

新築の中学部棟は中庭を囲む窓を大きく取って「開放感」と「一体感」を強調する明るい校舎となっています。同時にWi-Fi環境の整った蔵書6万冊の図書館を中心にクラス教室を配置して学びの総合性を目指します。体育館棟には、広々とした体育館と共に、上下可動式の床により初等部生にも対応するプール(温水式)を備え、生徒の「心と体を鍛える」中学部の教育に磨きがかかります。

名物プログラム「メチャビー」

「メチャビー」は、泥んこになりながら、ひとつのボールを追いかけるラグビー風のゲームです。それは春に千刈キャンプ場でおこなわれる新入生オリエンテーションキャンプの名物プログラムとなっています。ボールを持たず、恐れず前へ進む「勇気」と「責任」、そして仲間のために平気で泥をかぶることができる強い気持ちが求められます。中学部が目指す「将来人のため、社会のために働ける人間」を育成する具体的な第一歩です。



関西学院高等部

すべて

「凡ての人の僕たれ」～他者に、世界に貢献できる人になろう～

新制高等部として歩みだして以来、キリスト教を通して、他者と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格を培うことを目標として、「自由」と「自治」を重んじて歩んでいます。

関西学院大学への推薦制度に支えられ、最も多感な時期に様々な経験ができる、チャレンジができる環境のもと、バランスの取れた人間形成を目指した教育を展開しています。学業面においては大学での学びに備えた基礎を養うとともに、幅広い選択授業を提供し、各自の適性、個性に応じたカリキュラムを組んでいます。また、ICT環境を整え、教育改革を進めているところです。

高等部は、文部科学省のワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業にも選ばれ、良き伝統と自由闊達な雰囲気を受け継ぎつつ、ますます人に、社会に貢献できる生徒を育む環境を整えながら新しい歴史を刻み続けています。



関西学院高等部長
枝川 豊

「世界市民」に向けての語学教育

関西学院はその創立当初から国際的に開かれ、国際性を育てると同時に伝統的に英語教育に力を入れてきました。高等部では、高校英語の基礎の上に英語を実際に使う訓練を行い、世界の人々とコミュニケーションを図ることのできる英語力を目指したカリキュラムを用意しています。

各学年に英語を母国語とする外国人教員を配置し、生きた英語に触れる機会が多く、生徒自らが積極的にコミュニケーション能力を伸ばす環境が整っています。4技能統合型指導のもとで、スピーチやディスカッション、あるいはディベート、プレゼンテーションを英語で行う機会もあります。

また、3年生の選択授業では英検、TOEICテストなど資格検定試験を目指す授業、WritingやSpeaking能力を集中して伸ばす授業のほかに、中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語の第2外国語の授業も開講しています。

関西学院大学との高大連携による学び

3年生の選択授業で「大学関連科目」を開講し、大学の各学部の教授陣が教鞭をとり、大学での学び、学問の世界を知る機会を提供しています。また、高等部生が大学の正規の授業や、大学が開講する「英語インテンシブコース」(英語力の高い大学生を伸ばすコース)を高等部の授業の代わりに受講することも可能です。



活発な課外活動

高等部生全員が加入する生徒の自治組織「校友会」では、顧問の指導を受けながら、学友どうして協力し、経験と思索を重ねて、自らの自治能力を高めていけるように様々な活動が展開されています。毎週火曜日に持たれる生徒集会は「アッセンブリー」と呼ばれ、そのほか生徒総会、KGスポーツ大会、そして秋には文化祭が盛大に催されます。これらは基本的にすべて生徒の手で運営されています。

また、多くの生徒がクラブ活動に参加し、連日練習に励んでいます。運動部は古くから素晴らしい実績を残し、その名を全国に鳴り響かせてきた伝統を持ちます。古くは、野球部が甲子園大会で春夏ともに全国優勝を成し遂げています。さらに全国大会で過去18回優勝しているアメリカンフットボール部をはじめ、サッカー部・ラグビー部・テニス部・バスケットボール部・水泳部・陸上競技部・剣道部など多くの部がインターハイなどの全国大会に出場し、輝かしい戦績を残してきました。文化部においても、長い伝統を持つグリークラブに、吹奏楽部、ESS(英語部)、コンピューター部などが、各種コンクールに入賞するなど、高い評価を受けています。特に最近、数理科学部は、Stat Dash グランプリ総務大臣賞・最優秀賞受賞をはじめ、様々なコンクールで入賞するなど、国内外で活躍しています。キリスト教主義教育の関西学院ならではのクラブが宗教部です。日頃は学校の宗教行事を手伝い、夏休みに研修旅行等に出かけて他のミッションスクールと交流する等、建学の精神と聖書について学んでいます。

TOEIC及びTOEFLはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。
この(印刷物)はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

二つの学校 一つのミッション

私たち二つの学校に共通のミッションは、生徒たちを「知識と思いやりをもち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」に育てることです。

生徒たちは強い自我を育み、自己の文化、他の文化を理解し、経験の多様性を楽しめる人物へと成長します。世界におけるお互いのかかわりを認識し、多文化環境に対応できる、包容力があり創造性のある成人へと成長します。

生徒たちは自己責任の意識を持って教育活動に取り組み、自分の能力や才能に気づき、それらを伸ばさせて学習面・人としての成長面における自分の進む道を切り開きます。自らの努力で切り開く強さをもって進みます。

生徒たちは健康で生きがいのある生活を尊重し、個性を大切に、知恵と忍耐力を持って苦しいことを乗り越えていきます。国際社会の一員であるという意識を広げ、人類のよりよい未来のために他者への思いやりをもったリーダーシップを発揮していきます。



関西学院
千里国際中等部・高等部校長
井藤 真由美



関西学院
大阪インターナショナルスクール校長
ジャクソン・マイルズ

SIS 関西学院千里国際中等部・高等部 Senri International School of Kwansei Gakuin

- 文部科学省の学習指導要領に準拠した国際教育を行います。
- 授業言語は日本語と英語が中心です。
- 4月が年度の始まりです。

OISは、幼稚園から高校までを擁する、IBプログラムに基づいたインターナショナルスクールです。そのため、在籍する生徒たちは卒業後、海外のどの大学に進学しても、ここで学んだことを継続・発展させることができます。

※IB…国際バカロレア (International Baccalaureate) ※WASC…米国西部地域私立学校大学協会 (The Western Association of Schools and Colleges)

OIS 関西学院大阪インターナショナルスクール Osaka International School of Kwansei Gakuin

- IB*とWASC*に認定された学校です。
- 授業言語は英語が中心です。
- 8月下旬が年度の始まりです。



「SISとIBプログラム」

SISの生徒も、IBが開講している科目をOISの生徒とともに受講することができます。

2013年よりSIS高等部の英語ネイティブと同等の英語力を持つ生徒はIBディプロマプログラム (IBDP) を受講することができます。また、どの英語レベルの生徒であってもIB Englishを履習することができます。

日英バイリンガル環境で伸ばす語学力

SISとOISのある千里国際キャンパスでは、教室・廊下・食堂・運動場などあらゆる場所で、二つ (時にはそれ以上) の言語が飛び交っています。学校生活の中の様々な場面で、“英語を使う”必要性があり、自然な、無理のない形で“英語に浸る”=“イマージョン”環境を実現しています。英語初心者の人々も心配は不要です。海外で英語で学んできた人も、さらに力を伸ばすことのできる学習環境がここにはあります。

シェアードプログラム

SISとOISの生徒が、美術・音楽・体育の授業を一緒に受けるプログラムです。授業はインターナショナルスクールのカリキュラムを取り入れ、基本的に英語で行います。キャンパス内はいつも生徒の美術作品で彩られており、音楽もコーラスの他、楽器の演奏技術を習得し、発表する機会を多く設けています。年に一度、ミュージカルも開催。生涯親しめるスポーツや芸術との出会いが豊かな感性を育みます。



世界の子どもの幸せのために

人が誕生し、人生最初の一步を歩み出す時であり、また人間のあらゆる面の基礎が形成される時である乳幼児期。このように人間の原点ともいえる乳幼児期がいかに重要であるかはいうまでもありません。しかし残念ながらその重要性が真の意味で理解されているとはいえないのが現状です。聖和短期大学は、日本における保育者養成のパイオニアとしての長い歴史のなかで、確かな専門的知識と実践力を身につけ、キリスト教精神に基づく人間性を備えた「保育の専門家」を養成してきました。本学での学びをとおして、関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”(隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛える)を体現し、世界の子どもの幸せのために貢献する人を育てたいと願っています。



聖和短期大学学長
千葉 武夫

感性を育むキャンパス

聖和短期大学がある西宮聖和キャンパスは、小さいながらも四季折々の豊かな自然に恵まれ、隣接する関西学院幼稚園や聖和乳幼児保育センターの子どもたちが遊びにやってくるキャンパスです。学生たちは、自然や命とのふれあいをとおして、子どもを身近に感じながら、保育者としての感性を育み、学びを深めていきます。

また、関西学院子どもセンターには学生のための体験型施設「おもちゃえほんのへや」があり、教室だけでなく実践をとおして学ぶ環境も整っています。

(取得可能な免許・資格)

幼稚園教諭二種免許、保育士資格、児童厚生二級指導員資格、認定ベビーシッター資格、社会福祉主事任用資格

実習を中心とした実践的なカリキュラム

2年間という限られた期間での学びを効率よく進められるように実践型のカリキュラムを編成し、保育経験を有する多くの教師陣が指導にあたります。



少人数での事前・事後指導を徹底し、実習をサポート

多くの実習体験をとおして実践力を身につけるとともに、保育者としての責任感や使命感を育てるために、教員や職員が実習をサポートします。



充実した進路支援、高い就職率

伝統と実績による幅広い求人ネットワークのもと、毎年、卒業生のほぼ9割が取得した免許・資格を活かして幼稚園、保育所、認定こども園、児童養護施設、児童館等に就職しています。また関西学院大学神学部、教育学部および人間福祉学部への指定校推薦編入学制度もあります。



関西学院大学学部紹介

大学

西宮上ヶ原キャンパス

神学部

世界的広がりをもつキリスト教をもとに、現代社会に求められる人材を育成。幅広い専門知識を持つ伝道者の育成を目的とした「キリスト教伝道者コース」に加え、洗礼を受けていない学生にも開放する「キリスト教思想・文化コース」を開設しています。平和や人権、福祉や環境といった現代的課題を神学的見地から捉え直し、現実の社会に奉仕する精神と実践的方法を修得します。

【コース】

- ◆キリスト教伝道者
 - ◆キリスト教思想・文化
- (設立年新学制(旧学制))1952年(1889年)

文学部

「人文学」の追究により、深い学識、広い視野、高い専門性を養う。総合的・専門的な観点から「人間＝Humanities」を追究することを目的とし、人間存在の本質を歴史的・文化的視点から考察する「文化歴史学科」、現代社会に生きる人間のあり方や病理を分析する「総合心理科学科」、人間の営みを文学的・言語学的視点から解明する「文学言語学科」の3学科で編成しています。

文化歴史学科

- ◆哲学倫理学専修
- ◆美学芸術学専修
- ◆地理学地域文化学専修
- ◆日本史学専修
- ◆アジア史学専修
- ◆西洋史学専修

総合心理科学科

- ◆心理科学専修
 - ◆文学言語学科
 - ◆日本文学日本語学専修
 - ◆英米文学英語学専修
 - ◆フランス文学フランス語学専修
 - ◆ドイツ文学ドイツ語学専修
- (設立年新学制(旧学制))1948年(1912年)

社会学部

複雑な現代社会の本質を探究し、実社会に貢献できる人材を輩出。入学から2年生春学期までは社会学を幅広く学び、2年生秋学期からは6専攻分野から専門を定め、自身の興味・関心を掘り下げていきます。また、入学から卒業まで20名前後の演習科目を継続して開講しており、教員の手厚い指導を通して、現代社会を読み解くための専門知識と実践力の修得を実現します。

社会学科【専攻分野】

- ◆現代社会学専攻分野
 - ◆データ社会学専攻分野
 - ◆フィールド社会学専攻分野
 - ◆フィールド文化学専攻分野
 - ◆メディア・コミュニケーション学専攻分野
 - ◆社会心理学専攻分野
- (設立年)1960年

法学部

法律と政治について理解を深め、論理的な思考能力を伸ばし、社会を広く深く洞察する。「ソーシャル・アプローチ」という教育理念のもと各学年に特徴あるゼミナールを設置しています。1年生はスタートアップ演習、基本演習、2年生はコース導入演習、模擬裁判演習、3・4年生は研究演習と実務家が担当する多くの演習科目を設け、少人数での討論・発表を通してコミュニケーション能力、問題発見・解決能力を養います。

法学学科 政治学科【コース】

- ◆司法特修(選抜型) ◆司法
 - ◆企業法務 ◆公共政策(経済学部・法学部連携)
 - ◆国際法政 ◆政治システム
- (設立年新学制(旧学制))1948年(1934年)

経済学部

倫理観と判断力を持った実践力のある人材を育成。約40年前より1年次からゼミを設定するなど少人数教育に取り組み、現在もゼミ単位の活動がとても活発です。ゼミ対抗のディベート大会をはじめ、さまざまなゼミ対抗行事、国内やアジア、欧米の大学との積極的な交流を展開。グローバルな視点から経済現象を理解、分析する力やセンスを備えた人材が数多く生まれています。

◆日本経済と財政・金融

- ◆日本の企業と家計
 - ◆世界経済の歴史・思想と文化
 - ◆グローバル経済と環境・資源
 - ◆地域政策(経済学部・法学部連携)
- (設立年新学制(旧学制))1948年(1934年)

商学部

実社会とリンクした実践的な専門教育で第一線で活躍するビジネスパーソンを輩出。経済システムの主体となる「企業」を中心に、その行動原理や戦略を考究し、「真に創造的な能力を有するビジネスパーソンの育成(Fostering Creative Minds for Business)」に注力しています。経営のゼネラリストとして最低限必要な知識と、各分野のプロとしての高度な専門知識の修得を目的とするカリキュラムを編成。常に実社会とリンクした教育・研究システムを展開しています。

【コース】

- ◆経営 ◆会計
 - ◆マーケティング ◆ファイナンス
 - ◆ビジネス情報 ◆国際ビジネス
- (設立年新学制(旧学制))1951年(1912年)



西宮聖和キャンパス

人間福祉学部

人間と社会、その交互作用を全体的にとらえ、「質の高い生活と社会」の実現をめざす。よりよい社会の実現に向けて、ソーシャルワーク・マインドを持った人材の育成、グローバル水準の思考力、実践力を有し、社会起業・社会貢献を志す人材の育成、「こころ(スピリチュアリティ)」と「身体」の両面からの人間理解を学びの柱としています。社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科編成。

社会福祉学科 社会起業学科 人間科学科
(設立年)2008年

国際学部

Be a world citizen who renders service to humanity. 真の実力に満ちた「世界市民」を育成。国際社会で通用する外国語能力を養成すると共に、日本と密接な関係を持つ北米・アジア地域について、「文化・言語」「社会・ガバナンス」「経済・経営」の3つの学問領域からアプローチ。人文・社会科学の複数の領域から学際的に日本や世界に関する理解を深め、世界全体を見渡せる国際性と人間性を備えた「世界市民」を育成します。

国際学科[コース]
◆ 北米研究 ◆ アジア研究
(設立年)2010年

教育学部

「子ども理解」をベースに、実践力・教育力・人間力を持った教育者を育成。「子ども理解」とは、ただ専門的な知識を得るだけでなく、乳幼児期から児童期、思春期にかけての子どもの成長・発達を十分に理解することであり、教育学部の学びの基礎と位置づけています。数多くの実習やフィールドワークを段階的に経験することで、理論で学んだことを実践でより深く理解することができます。また、少人数教育を行っていることも、教育学部の大きな特徴です。

教育学科[コース]
◆ 幼児教育※ ◆ 初等教育※ ◆ 教育学科※
※2021年度入学生より、幼児教育学、初等教育学にコース名称変更予定。
(設立年)2009年

神戸三田キャンパス

総合政策学部

広い視野と専門性に裏打ちされた、問題解決総合力を備えた人材を養成。「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を理念に、社会が抱える諸問題の解決策をグローバルな視点で立案・足元から実行できる人材の育成をめざしています。「共生」の実現に挑む総合政策学科、情報化社会の課題を考察し解決策を発信するメディア情報学科、地域活性化政策の立案と地域ベンチャーの立ち上げを目指す起業家の育成をする都市政策学科、国連の掲げる課題にアプローチする国際政策学科の4つの学科を設置しています。

総合政策学科 メディア情報学科
都市政策学科 国際政策学科
(設立年)1995年



理工学部

先端レベルの体験型教育を通して未来の社会に貢献できるサイエンティスト・エンジニアを育成。「自然科学の基本原理とその応用について教育と研究をおこない、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する」ことを基本理念に、著しく進歩、変化する時代に対応し、未開の最先端領域を拓く人材の育成をめざしています。英語教育の充実もはかるなど、グローバル社会での高い実践力をもった卒業生を送り出しています。

数理科学科[コース]
◆ 数学 ◆ 応用数理
物理学科
先進エネルギー・ナノ工学
化学科
環境・応用化学科
生命科学科
生命医化学科

情報科学科[コース]
◆ ネットワークシステム
◆ 情報システム
人間システム工学
[コース]
◆ 映像音響システム
◆ サイバーロボティクス

(設立年)2002年
理工学部の前身である理学部は1961年に創設。2002年に理工学部へ名称変更

※2021年度4月理工学部を改組転換し、新たに理学部、工学部、生命環境学部、建築学部を設置するため、理工学部は学生募集を停止します。

2021年4月、 理系4学部新設

※2021年4月開設

KSC(神戸三田キャンパス)は、2021年4月に理系4学部を新設し、文理横断型キャンパスとして、国境や文系・理系、学問分野、大学と社会などさまざまな枠を越えた教育を推進し、ますます複雑化する未来に向けて「境界を越える革新者”Borderless Innovator”」の育成を図ります。



KSC 特設サイト

NEW

理学部:
数理科学科、物理・宇宙学科、化学科
工学部:
物質工学課程、電気電子応用工学課程、
情報工学課程、知能・機械工学課程
生命環境学部:
生物科学科、生命医科学科、環境応用化学科
建築学部:
建築学科

RENEWAL

総合政策学部:
総合政策学科、メディア情報学科、
都市政策学科、国際政策学科

関西学院大学大学院研究科紹介

大学院

西宮上ヶ原キャンパス

神学研究科

◆ 研究分野・目標

聖書分野、歴史・文化分野、組織分野、実践分野の4分野。

◆ 特長

社会とキリスト教界に貢献する、神学の専門家を育成。前期課程には、キリスト教伝道者コースとキリスト教思想・文化コースが設けられ、前者ではキリスト教界の指導者となるための実践能力育成、後者では、キリスト教思想・文化の専門知識と思索を深めるカリキュラムとなっています。後期課程では高度な神学研究を続けるための学問的能力を高めます。(設立年)1952年

文学研究科

◆ 研究分野・目標

3専攻・12の学問領域を用意、より広く深い研究が可能に。文化歴史学専攻、総合心理学専攻、文学言語学専攻の3専攻。

◆ 特長

各専攻・領域を有機的に結びつけることにより、学問的ディシプリンを越えた、より深く広い研究が可能になっています。豊富な資(史)料や調査研究機器を利用できる環境、各方面の専門家を招いての特殊講義、綿密な論文指導が大きな特色。学校教育学領域では、現役教員も対象とした専門職業人を育成。教育現場の抱える現代的な諸問題に応えます。(設立年)1950年

社会学研究科

◆ 研究分野・目標

社会学および社会心理学の先端的研究の推進、研究者の養成、専門能力をもった職業人の育成を目指します。

◆ 特長

前期課程、後期課程にアカデミックコースを設け、社会学、社会心理学の分野で多くの研究者を輩出してきました。前期課程には専門社会調査士コースも設置し、高度な研究成果を用いて社会貢献できる人材の養成に力を注いでいます。また、研究科独自の「大学院生サポートプログラム」および「先端社会研究所」により、研究成果発表会の開催や学術誌の発行、海外セミナーへの派遣などを通して、研究活動をサポートしています。(設立年)1961年

法学研究科

◆ 研究分野・目標

ニーズ対応型の研究体制で、高度の研究能力と専門性を備えた研究者・実務家に。

◆ 特長

前期課程では、「法学・政治学」の1専攻をおき、研究者の養成を目的とする「アカデミックコース」と、法律学・政治学の高度専門職業人の養成を目的とする「エキスパートコース」の2コースがあります。エキスパートコースでは、それぞれの進路に対応するため「法律実務」「ビジネス法務」「公共政策」「国際法政」「自由研究」の5プログラムを提供しています。後期課程では、「政治学」「基礎法学」「民刑事法学」の3専攻で、研究者として必要な高度の研究能力と豊かな学識を育成します。(設立年)1950年

経済学研究科

◆ 研究分野・目標

経済理論、統計学・計量経済学、経済学史、経済史、経済政策、財政、金融、国際経済、社会政策・労働経済他の各分野。

◆ 特長

長い伝統を誇り、研究者だけでなく多彩な人材を輩出してきた研究科。税理士・会計士・教員・公務員など、専門職を目指す知的訓練の場としても成果を上げています。(設立年)1950年

商学研究科

◆ 研究分野・目標

経営、会計、マーケティング、ファイナンス、ビジネス情報、国際ビジネスの6分野。

◆ 特長

「研究職コース」と「専門学識コース」の2コースがあり、前者は高度な洞察力と分析能力を有する研究者を志す5年一貫コースです。後者は、将来企業などで活躍することをめざす学生のための前期課程2年間のコースで専門知識・技能が習得できます。(設立年)1952年

人間福祉研究科

◆ 研究分野・目標

社会福祉学に基礎を置いた学際的なアプローチにより、人と社会(環境)の交互作用、社会への貢献、人間のこころと身体といった課題を複眼的な視野で捉え、現代社会が抱える諸問題の解決策を追究します。

◆ 特長

前期課程では、人間福祉の領域において高い学識と高度な専門的知識・能力を修得し、その専門性を用いて社会に貢献できる人材を育成。後期課程では、高度な研究能力を涵養し、学問研究の継承と独創的な研究による博士学位取得を目指します。(設立年)2008年

国際学研究科

◆ 研究分野・目標

多様な文化・価値観が共存する国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる地域的・地球的課題を人文・社会科学的分析し、解決策を講じることを教育・研究上の理念・目的とし、その課題の解決に貢献することのできる高度な専門的職業人・研究者などの知的人材を育成します。

◆ 特長

前期課程においては、3つの専門領域のうち、研究課題との関連性の高い、少なくとも2つの領域を学習し、研究視野を広げることを通じて専門性を高めること、また、国際標準語としての英語総合力、とくに英語による対話力を培います。後期課程においては、博士課程前期課程の履修成果をさらに進め、学際的視野をもちつつ、より高度な専門性と研究者としての自立性を確立します。その上でさらに、他の専門領域研究者やフィールドあるいは市民に対して研究課題のフロンティアを周知させ、また、そこからフィードバックを受容することのできる発信力と対話力を身につけた研究者を養成します。(設立年)2014年

西宮聖和キャンパス

言語コミュニケーション文化研究科

◆ 研究分野・目標

言語教育研究センターを母体とする独立研究科で、高度な言語コミュニケーション能力を備え、豊かな人間性と国際的・文化的視野をもち、高度の学問的専門性を備えた人材を養成する。

◆ 特長

Better Communication for a Better World. 前期課程は、言語の実態を解明する「言語科学」、言語と紐づく文化研究を行う「言語文化学」、言語習得の方法論を探究する「言語教育学」、日本語教員を養成する「日本語教育学」の4学問領域から成り、後期課程では、前期課程で培った知識と研究能力を、言語コミュニケーション能力の理論的解明に特化した高度で先進的な研究へと結実させます。(設立年)2001年

教育学研究科

◆ 研究分野・目標

「子ども理解」を軸に、「教育とは何か」「人間とは何か」「共生とは何か」を根源的に問いながら、生涯にわたる人間形成上の問題を解決して導く教育と研究を行うことを目指しています。教育学専攻内に乳幼児教育研究領域と共生教育研究領域を設けています。

◆ 特長

各領域の前期課程には研究者に求められる資質の育成をねらった研究者養成コースと、指導的立場を担える教育者・実践者に求められる資質の育成をねらった高度教育コースを設けています。後期課程においては博士論文の作成のための指導、および自立した研究者として活躍していく能力や学識が身につくような支援を行っています。(設立年)2009年

西宮北口キャンパス

司法研究科(ロースクール)

◆ 研究分野・目標

高度な専門知識と豊かな人間性で問題を解決できる「人権感覚豊かな市民法曹」「企業法務に強い法曹」「公務に強い法曹」「国際的に活躍できる法曹」の養成。

◆ 特長

4つのフィールドで社会に貢献できる法曹を養成するための、機能的なカリキュラム、研究者教員と実務家教員との連携による学生指導、理論と実務の融合をはかる授業、徹底した少人数教育、独創的なシミュレーション教育を推進しています。(設立年)2004年

神戸三田キャンパス

理工学研究科

◆ 研究分野・目標

数理学専攻、物理学専攻、先進エネルギーナノ工学専攻、化学専攻、環境・応用化学専攻、生命科学専攻、生命医学専攻、情報科学専攻、人間システム工学専攻。

◆ 特長

「自然科学の基本原則とその応用について先端的研究を行い、自然科学・科学技術の発展と人類の進歩に貢献する」ことを理念に教育・研究活動を展開。最新設備を備えた恵まれた環境のなか、最先端の研究に携わることで、新しい未知の問題を発見、探求し、解決していく能力や、その成果を社会に活かしていく応用力を養います。また英語で修士学位が取得できるプログラムを設置。高度な専門知識とグローバルな視点を養うことを目標にしています。(設立年)1965年

西宮上ヶ原・大阪梅田キャンパス

経営戦略研究科

◆ 研究分野・目標

世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール(企業経営戦略コース・国際経営コース)」、国際的な水準で経済社会に貢献し得る職業会計人を養成する「アカウンティングスクール」、および実践型研究者を養成する博士課程後期課程「先端マネジメント専攻」から成る。

◆ 特長

国際的な基準で活躍できるフルラインの学びを提供し、高いレベルでの「理論」と「実践」の融合を目指します。交通至便な大阪梅田キャンパス、学習環境の優れた西宮上ヶ原キャンパスの活用で多様な学習ニーズに対応しています。修了後のネットワークも充実しています。(設立年)2005年

総合政策研究科

◆ 研究分野・目標

「自然と人間の共生、人間と人間の共生」を基本理念とし、高度な政策分析能力を持つ国際的研究者や高度専門職業人の養成をめざします。

◆ 特長

本研究科は、ヒューマン・エコロジー(人間生態学)を基本的学問分野と位置づけ、そこに、政治学、経済学、法学、経営学、社会学、理学、工学等の知識と技術を立体的に組み合わせることによって、国際社会が求める政策提言能力の獲得をめざします。(設立年)1999年

大学院国連・外交コース

国連・国際機関職員、外交官等、「世界の公共分野で活躍するグローバルリーダー」を育成するため、「大学院博士課程前期課程」の副専攻プログラムおよび経営戦略研究科国際経営コース(専門職学位課程)の主専攻プログラムとして開講しています。

「スーパーグローバル大学創成支援」事業

飛躍的な国際化と世界市民育成の未来図を示す

関西学院大学の構想「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」は、2014年度文部科学省「スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援」(タイプB:グローバル化牽引型)に採択されています。支援期間は、10年間です。

関西学院大学は「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成」というミッションの実現を通して、日本における“Top Global University”をめざします。



キーワード1

教育OSの刷新「ダブルチャレンジ制度」

全学生が、所属学部の主専攻の学び(ホームチャレンジ)に加え、異なるものとの出会いの場「アウェイチャレンジ」に取り組み、グローバル人材に強く求められる「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を深めます。アウェイチャレンジは3つのプログラムから選択します。

2018年度は、
※1,833人を
海外協定校へ派遣し、
海外派遣学生数で
全国1位に!
※日本学生支援機構調べ



キーワード2

海外協定校への派遣学生数日本一

アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

「日本を越え、世界を知る」



ホームチャレンジ



派遣 協定校へ約900人→約2,500人/年
受入 受入留学生数 約900人→約1,500人/年
融合 受入留学生と日本人学生の交流・融合プログラム拡充

アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

「学部を出て、他分野を学ぶ」



主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。

アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム (実践型学習)

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」



ボランティア活動、フィールドワーク、インターシップ、起業家育成プログラム、企業との共同の問題解決型プログラム等を展開します。



キーワード3

国連・国際機関等へのゲートウェイを創設

国連・国際機関、国際NGOの職員や外交官など「世界の公共分野で活躍するグローバルリーダー」を育成する包括的なプログラムを構築します。

学部

副専攻「国連・外交官プログラム」を新設(2017年度)

大学院

大学院副専攻プログラム「国連・外交コース」を新設(2017年度)

キャリア支援

外務省とも連携した「関西学院大学国際機関人事センター」を2015年度に新設



キーワード4

国際通用性のある質保証システムの構築



キーワード5

ガバナンス改革による総合的マネジメントの実現

運動する関西学院の
文部科学省補助事業

・2015年度指定 スーパーグローバルハイスクール(関西学院千里国際高等部)
・2019年度指定 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業拠点校(関西学院高等部)

国際教育

国連・国際機関へのゲートウェイ

国際公共・国際協力分野のリーダーを目指す

国連・国際機関職員、外交官として力を発揮できる人材の育成を目指し、学部・大学院で副専攻「国連・外交プログラム／国連・外交コース」を提供しています。関西学院大学の「国連・国際機関へのゲートウェイ構想」の一環で、国連・国際機関職員や外交官として、世界の公共の場で活躍するために必要な高い専門性とさまざまな能力を身につけることを目的としています。

学部

● 大学副専攻/国連・外交プログラム

「国連・外交プログラム」は、将来、国際機関や外交・国際協力など、世界の公共の場で活躍するリーダーを養成するプログラムです。導入科目、実践科目、派遣後履修科目、学部関連科目、自由選択科目から32単位を選んで履修します。在籍する学部で専門性を高め、国連コースボランティアをはじめとする海外プログラムに挑戦し、若いうちから国際的なセンスを身につけた学生を育てます。

派遣・導入科目

海外でのフィールドワーク・ボランティアなどに備えて、派遣前に身につけておくべき基礎的知識・技能を習得します。
6単位

例えば…

- 国連・外交入門
国連・国際機関等に関する基礎をゼミ形式で学ぶ
- 教育開発論
国の発展のための教育の重要性を学び、教育分野での開発の仕組み、方法を知る
- グローバルゼミA
グローバル社会の諸課題をトピックとして、プレゼンやディスカッション料として磨く

実践科目

海外での現地実習を通じて現場実践経験を積み、国際社会で貢献するために必要となる力を養います。
4単位

例えば…

- 国連コースボランティア
世界各国の国連機関の事務所で約5か月間、ボランティアとして開発支援などに関わる
- 国際社会貢献活動
JICAや赤十字国際委員会等で、教育支援、環境保全、平和構築などの分野で活動する
- 国連セミナー
ニューヨークの国連本部を訪問し、国連の役割や課題、実際の業務を学ぶ

派遣後履修科目

実践経験をベースに、国際公共分野で働くために必要となる能力、キャリアパス、準備方法などを学びます。
2単位

例えば…

- Career Seminar for International Organizations
国際機関へのキャリア形成のために、キャリア設計や必要となる能力などを学ぶ

学部関連科目

国際公共分野で必要となる専門性の土台を身につけます。

8単位

自由選択科目

12単位

大学院

● 大学院副専攻/国連・外交コース

大学院副専攻「国連・外交コース」は、「大学院博士課程前期課程」（修士）および「大学院専門職課程」（専門職学位）レベルの副専攻プログラムです。国連・国際機関職員になるには、一般的に大学院（修士）以上の高い専門性と語学力、そして実務経験が必須となります。学生はそれぞれの所属研究科での学位取得を目指すと同時に、「国連・外交コース」において所定課程の単位を修得し、国連・国際機関や外交官などに求められる実践的能力を身につけます。

● コース概要

- ①「大学院博士課程前期課程」（修士）および「大学院専門職課程」（専門職学位）の副専攻プログラム。
- ②学生は各研究科の入試を経て、所属研究科での学位取得を目指すと同時に、「国連・外交コース」所定課程から23単位を修得し、実践的能力を養います。
- ③全科目英語で授業。経験豊富な実務家教員による演習主体。留学生も交えて国際的なディスカッションを展開。原則として水・土曜日開講。
- ④国際機関などでのインターンシップ（約2か月程度）必修。

● 主な科目

- 【基礎科目】・International Public Policy
<講義科目>・Management of International Organizations
・Global Sustainable Development
- 【実践科目】・Seminar in Diplomacy, Peace and Security
<演習科目>・Seminar in Global Communication
・Seminar in Multilateral Negotiation
- <実践科目>・Internship in the United Nations and Diplomatic Institutions

キャリア

● キャリア支援

関学国際機関人事センター

外務省と連携した新設センターが中心となっており、コース履修者に、将来国際機関で働くことを想定した進路指導を行います。

国連・国際機関職員

外交官

政府系機関 国際NGO等

国際教育

国連ボランティア計画 (UNV) との提携

国連ユースボランティアとして国際協力の現場に挑む

◆ アジア初・世界で3番目の取り組み

国連ボランティア計画 (UNV) と協定を締結し、2004年度から学生をボランティアとして開発途上国に派遣しています。こうした協定をUNVと結んだ大学は、関西学院大学が世界で3番目、アジアでは初めてです。さらに2013年に「国連ユースボランティア」派遣日本訓練センターを設置し、日本国内において学生派遣の拠点となっています。

◆ 参加学生には単位も認定

関西学院大学では、2004年から100名以上の学生を派遣。赴任地に約5カ月間滞在し、主に教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。全学部の学生に参加のチャンスがあり、任務を遂行した学生には最大16単位が付与されます。

難民対象の推薦入学制度

日本初の難民を対象とする推薦入学制度を国連と連携して設置

◆ UNHCRと難民受け入れの協定締結

2006年、国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所と協定を結び、UNHCRが推薦する難民を、毎年2人 (2012年度から3人) まで正規学生として迎える推薦入学制度を設置しました。この制度で入学する学生には学費を全額免除し、奨学金を支給します。日本初の取り組みで、大学ならではの国際協力として注目を集めています。

● 国際協力を日本の文化に — 難民学生支援募金活動を展開

難民の現状を広く社会に知っていただくため、2006年7月に難民学生支援募金活動を始めました。募金は難民学生の生活費にあてるための奨学金として支給しています。

募金の申し込み、お問い合わせは
関西学院大学 学長室 (0798-54-6100)
までお願いします。

国連アカデミック・インパクト

関西学院大学は2010年9月、「国連アカデミック・インパクト」に参画しました。国連と世界の高等教育機関の連携を促進するために、2009年から国連本部が始めた取り組みで、加盟大学には、国連が定める10原則のうち、毎年少なくとも1つの原則を積極的に推進することが求められています。関西学院大学は、本イニシアティブへの参画を契機に国連とさらなる連携をはかっています。

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ (CCC)」

文部科学省の平成23 (2011) 年度「大学の世界展開力強化事業」に採択された関西学院大学の「日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム『クロス・カルチュラル・カレッジ』」では、2012年度以降、日加両国から多数の修了者を輩出してきました。補助事業が終了した2016年度以降も、関西学院大学は、カナダのマウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学と協働でクロス・カルチュラル・カレッジを継続して運営しており、今後も、日加両国の学生が寝食をともにしながら課題の発見、解決に向けて協働する実践的な科目群などにより、多文化を共生させながらグローバル社会を発展、成長させる世界市民リーダーズを育成します。

国際教育・協カプログラム

海外との強力なネットワーク・多彩なプログラムを活用し、2018年度は1800人以上が各種プログラムを通して海外に行きました。異文化の中で多様な価値観・視点を身につけ、世界市民としての成長をめざします。

種 類	プログラム	期 間
ダブルディグリー留学	<ul style="list-style-type: none"> ●ダブルディグリー留学(カナダ:マウント・アリソン大学)社会学部、商学部、国際学部対象 ●ダブルディグリー留学(カナダ:ビクトリア大学)国際学部対象 ●ダブルディグリー留学(オーストラリア:クイーンズランド大学)国際学部対象 ●ダブルディグリーコース(イギリス:スターリング大学大学院)言語コミュニケーション文化研究科 	約1年 ～2年半
交換留学・長期留学・認定留学	●交換留学 ●長期留学(学教科目履修型) ●認定留学	1学期間または 2学期間
中期留学	<ul style="list-style-type: none"> ●英語中期留学(カナダ・アメリカ・マレーシア・イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・タイ) ●フランス語中期留学 ●スペイン語中期留学 	約3～5カ月 (1学期間)
海外インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> ●中期海外インターンシップ(オーストラリア) ●短期海外インターンシップ(アメリカ・ベトナム) 	約3～4カ月 約4週間
外国語研修	<ul style="list-style-type: none"> ●英語研修(カナダ・アメリカ・イギリス・オーストラリア・マレーシア・タイ・アイルランド・ニュージーランド・インドネシア) ●中国語研修(中国・台湾) ●朝鮮語研修(韓国) ●スペイン語研修(スペイン) 	夏季または 春季休暇中の 約1カ月
国際ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ●国連ユースボランティア(開発途上国の国連事務所等) ●国際社会貢献活動(開発途上国の教育機関、NGO事務所等) 	約5カ月
国際セミナー・フィールドワーク	<ul style="list-style-type: none"> ●海外異文化体験セミナー(ハワイ・台湾・ベトナム) ●国連セミナー(ニューヨークの国連本部を訪問し、国際機関等の役割を学ぶ) ●インドネシア交流セミナー(インドネシア:サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学)との合同セミナー ●海外フィールドワーク(マレーシア、ミャンマー、ベトナム) ●クロス・カルチュラル・カレッジ(CCC) 	約8日～2週間

※上記プログラム内容は2020年5月現在のものです。

その他、各学部ではそれぞれの専門領域に沿った独自性の高い留学・国際プログラムを提供しています。

EUインスティテュート関西

ヨーロッパ研究の新拠点として 日本・EUの相互理解へ貢献

欧州連合(EU)に関する学術研究の促進および教育・広報活動の推進、日本・EU関係の強化を目的に、神戸大学、関西学院大学、大阪大学からなるコンソーシアムとして設立されました。EU研究修了証(Certificate)プログラム、学生合宿などの活動を行っており、日本とヨーロッパの相互理解に貢献することをめざします。

ジョゼ・マヌエル・バロゾ
前欧州委員会委員長からの
メッセージ(一部抜粋)



EU・J関係が活発な活動を繰り広げられることを嬉しく思います。日本とEUのようなパートナーにとって、技術が将来へのカギを握っており、協力することが不可欠です。知識協力という新たな側面を日・EU関係に加えることが必要なのです。学者として、研究者、学生、科学者として、EUの友人として、我々を正しい方向へ推し進めてくださるよう、皆様のご貢献に期待しています。

国際教育

世界市民の育成をめざして充実したグローバルネットワーク

◆ **50カ国・地域、270以上の大学・コンソーシアムと留学・学術交流ネットワーク** (2020年3月現在)
 世界50カ国・地域、270以上の大学・コンソーシアムと国際的なネットワークを展開しています。創立者ランパスの世界市民育成の精神を受け継ぎ、多様な国際教育プログラムを提供しています。



◆ 協定に基づく海外派遣学生数、日本一

海外留学者数 約 **2.2倍** (2013年度比)

関西学院大学では多様な留学プログラムを完備するとともに、留学希望者向けの奨学金制度など、支援策も充実しています。さらに2014年から文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業による国からの支援もあり、留学する学生の数が増加しています。

協定校・機関数 約 **1.7倍** (2013年度比)

関西学院大学の教育の質が世界で認められ「協定校・機関」との連携が増えています。協定校・機関であることは、例えば、留学の金銭的な負担が少ないことや留学先で修得した単位が関西学院大学の単位として認められるなど学生にとって大きなメリットがあります。



*独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

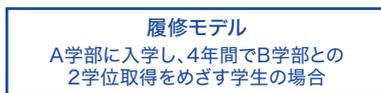
マルチプル・ディグリー制度

◆ 最短4年間で2学部を卒業

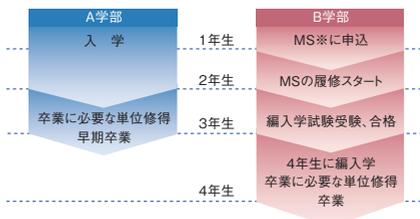
学生の複数分野にわたる知的好奇心を力強くバックアップする画期的な制度。最短の4年間で2学部を卒業できるのは社会・法・経済・商・人間福祉・国際学部への入学生で、それぞれの学部を3年間で卒業し、2つ目の学部として神・文・社会・法・経済・商・国際学部から選択できます。

◆ 関西学院大学が日本初

2つの学部で学位を取得するには、1つの学部を卒業するより修得すべき科目・単位が増えるため、相当の努力が必要です。しかし、本制度でのその努力と学びは、多様な興味や知識を広げるとともに、学びの総合的な深化も可能としています。そしてそれは、高度化・複雑化している現代社会において求められている専門性に加えて、多面的な視野や知識をもとに幅広い発想力を持った人材の育成にもつながります。



《マルチプル・ディグリー制度履修モデル》



A・B学部の両方の学位を取得

※MS(複数分野専攻制):他学部の科目を副専攻プログラムとして履修できる制度

ダブルディグリー制度

関西学院大学は、在学中に海外協定校へ1年～2年半の間留学し、正規カリキュラムを履修して関西学院大学と海外の大学の両方から学位を取得できる「ダブルディグリー留学制度」を導入。将来、海外の大学院への進学やグローバル企業、国際的な機関等での勤務など、国際社会の第一線で活躍したいと考える学生にとっては、特に価値のある制度です。社会学部、商学部、国際学部がカナダのマウント・アリソン大学と、国際学部がカナダのビクトリア大学、オーストラリアのクイーンズランド大学と協定を結んでいます。ダブルディグリー留学志望者には入学時から履修指導のほか、留学中の奨学金や学費減免制度等で経済的にも大きくバックアップします。大学院においては、言語コミュニケーション文化研究科が最短2年間で、イギリスのスターリング大学大学院とのダブルディグリーコースで両大学の修士号を取得できます。経済的には留学中の奨学金や学費減免制度等でバックアップします。

兵庫医科大学との学術交流

授業科目の相互提供や学生・教員の相互交流を実施。関西学院大学の学生は、兵庫医大の教員による「医学入門」等の科目の履修や、夏季の集中講義での病棟実習などで医療の現場を体験し、医療の理解を深めることができます。

文部科学省等採択プログラム

2016年度 採択	大学入学者選抜改革推進委託事業
	<ul style="list-style-type: none"> 各大学の入学者選抜改革における課題の調査分析及び分析結果を踏まえた改革の促進方策に関する調査研究と「主体性等」をより適切に評価する面接や書類審査等 教科・科目によらない評価手法の調査研究
	私立大学等改革総合支援事業
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ1「教育の質的転換」、タイプ3「産業界・他大学等との連携」、タイプ4「グローバル化」
2017年度 採択	高度専門職業人養成機能強化促進委託事業
	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド需要に対応したMICE・地方観光人材の育成プログラムの企画
	内閣府 地方創生カレッジ事業
	科学技術振興機構(JST)次世代人材育成事業(グローバルサイエンスキャンパス)(共同機関として採択、実施機関:神戸大学) <ul style="list-style-type: none"> 根源を問い革新を生む国際的科学技術人材育成挑戦プログラム
2018年度 採択	私立大学等改革総合支援事業
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ1「教育の質的転換」、タイプ3「産業界・他大学等との連携」、タイプ4「グローバル化」、タイプ5「プラットフォーム形成」
2019年度 採択	私立大学等改革総合支援事業
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ2「特色ある高度な研究の展開」、タイプ3「地域社会への貢献」(プラットフォーム型)、タイプ4「社会実装の推進」

キャンパスを出て、社会に学ぶ

ハンズオン・ラーニングセンター

◆ センターの概要

本学のSGU構想の柱でもある「ダブルチャレンジ制度」3プログラムの1つ「ハンズオン・ラーニング」を推進するため、2017年4月に設置されました。

「キャンパスを出て、社会に学ぶ」をキーコンセプトに、企業や地域、行政などと連携し、①課題解決・企画提案型プロジェクト、②インターンシップ、③フィールドワークを中心とした実践型の体験学習プログラムを提供しています。社会の課題に自ら向き合う学修姿勢・思考力・行動力を修得することをめざします。

◆ センターの理念・目的

知的基礎体力の修得を通じた専門的学びへの架橋

センターでは、企業や行政(地域)の連携・協力を得て、多様な「実践的」な科目を提供します。その学びを単なる一過性の「体験」「経験」に終わらせず、将来を探究する学修者の育成につなげます。履修する学生は、現代社会に向き合い、自らの立ち位置を確認して課題を設定し、課題に向き合う学修姿勢、方法論、思考を修得します。

入学早期からセンターが提供する「実践的」な科目を履修することで、所属学部の特門ゼミ等での学びや将来にわたって学び続ける力につなげてもらいたいと考えています。

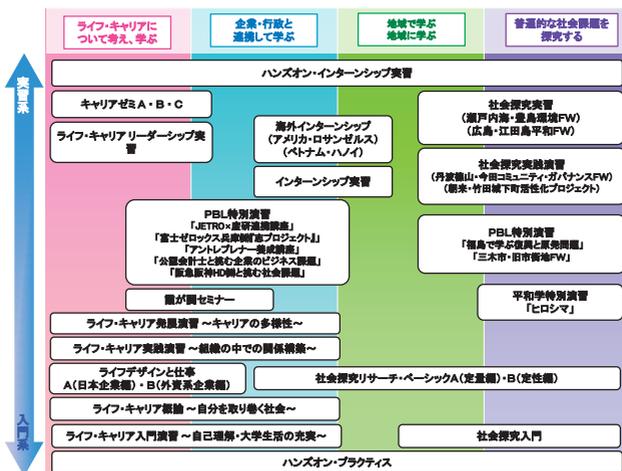
“Mastery for Service”(奉仕のための練達)を教育プログラムとして具現化

本学のミッションステートメントにある「キリスト教主義に基づく『学びと探究の共同体』として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育む」を常に意識した取り組みを推進します。

ハンズオン・ラーニング・プログラム

◆ カリキュラム

センターが提供する科目をテーマ・内容で大別すると概ね以下のとおりです。



共同学習スペース

学生共同学習の推進により自ら考える学生を育成

関西学院大学では、学生が教え合い学び合うとともに、大学院生、教職員と触れ合える空間を拡大するために、Academic Commons(神戸三田キャンパス)やラーニングcommons(西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス)といった共同学習スペースを設けています。これは、「KG学士力」の高い質を保証するための政策の1つです。

Academic Commons(神戸三田キャンパス)

神戸三田キャンパスの中心に位置し、「学生の学生による学生のための生きた学びの場」となるアカデミックcommons。約800㎡の大空間「アクティブラーニングゾーン」をはじめ、120インチのハイビジョンプロジェクターや音響施設が充実した「シアター」など、多彩なエリアを有し、学生の自主的な学びや授業外での幅広い学びの場を提供しています。また、教職員が一体となりアカデミックcommons活性化委員会を組織し、学生によるプロジェクト活動を支援する体制を構築するなど、ハード面だけでなくソフト面でも新しい学びを支援しています。2019年度は、教職員や学生が、自分の取り組む研究・活動を熱く語る「クレセントアワー」や、新聞紙を使用したエコバックの作り方をレクチャーし、一緒に作りながら環境問題について考えるワークショップなど、多種多様でユニークなアクティビティが行われるなど、学生の活動、情報発信の拠点となっています。



『クレセントアワー』
(アクティブラーニングゾーン)



『新聞紙でエコバックを
作ろう』
(アクティブラーニングゾーン)

アカデミックcommons Facebook・Twitter

イベントや学生活動などアカデミックcommonsの様々な情報を随時紹介しています。



アカデミックcommons Facebook



Facebook



Twitter

ラーニングcommons(西宮上ヶ原キャンパス)

西宮上ヶ原キャンパスラーニングcommonsは、「学生の自主的な学習の場」です。H号館と中央講堂の2箇所にあり、H号館には1階に仲間と集い食事ができる「ラウンジ」、個人からグループでの学習のきっかけとなる「CReatE1」、2階にグループで構想や資料を創り込む「CReatE2」の3つのゾーンがあります。

中央講堂には地下1階に、リラックスした雰囲気でも語り合う「ラウンジゾーン」、仲間と議論し創り上げる「ラーニングゾーン」、学習成果をアウトプットする「セミナーゾーン」があります。サンクンガーデン(地下の広場)を設け、光を取り込んだ明るい空間になっています。また、両commonsに、より集中して議論ができるグループ学習ルーム(計10室)も完備しています。それぞれ用途や活動のスタイルに合わせて設計された空間で、仲間と集まり、主体的に学び、創造する。そんな学習活動の拠点となる場所です。



ラーニングcommons「リブラ」(西宮聖和キャンパス)

西宮聖和キャンパスの中心に位置する2号館の中に、ラーニングcommons「リブラ」が2017年4月にオープンしました。仲間と「集まる」、交流の中でアイデアを「練り上げる」、それを実際に「やってみる」という3つのアクションを連動・展開させ、「学び」とともに探究するための場です。

1階の「フリーラーニングゾーン」は1人でも仲間とでも、予約なしで自由に自習場所として利用できる学習多目的スペースで、カウンターにはサポートスタッフが常駐し、学習を支援します。中央にある「イベントスペース」はイベント活用が可能で、プレゼンテーション、ポスターセッション、模擬授業など活用方法は無限。新たな知識と発見、出会いを得る場でもあります。1階と2階にある「グループスタディールーム」は3名~36名までのグループワーク用スペースで、仲間同士で「練り上げる」ことを繰り返し、ひらめきをカタチにする場です。重層的な学びが、西宮聖和キャンパス2号館ラーニングcommonsという学びの中心地から「波紋」を描き(ripple out)、広がっていくように、との思いから「リブラ」と名付けられました。



教育研究施設

図書館



西宮上ヶ原キャンパス大学図書館

約150万冊の蔵書、約1780席の閲覧座席を有し約160台のパソコンを備えた機能的な図書館です。図書や雑誌、視聴覚資料だけでなく、各種Webデータベースや電子ジャーナル、電子ブックも充実し、知的交流・創造の場としても、幅広く大学の教育・研究をサポートしています。



西宮聖和キャンパス図書館

20万冊以上の蔵書が自主的な研究活動をサポートします。教育分野の専門書はもちろん、貴重な文献や関連領域の雑誌などが多数そろっています。



神戸三田キャンパス図書メディア館

総合政策学部および理工学部関連の分野を中心に、約25万冊の図書、約2000タイトルの学術誌を所蔵しています。メディア・フォーラムには、PC利用相談カウンターと112台のパソコンがあり、神戸三田キャンパスの教育研究活動を支援しています。

災害復興制度研究所

「災害復興」に真正面から取り組む全国初の研究機関として、阪神・淡路大震災から10年にあたる2005年1月17日に設立されました。2008年には社会に開かれた研究所として、全国の研究者やジャーナリスト、ボランティア、行政マンらと連携し、日本災害復興学会を創設。2019年度には被災者総合支援法案を発表、その普及をめざしています。



先端社会研究所

21世紀COEプログラムの研究成果を継続・発展するために2008年に設置された研究所です。国内外の研究機関と連携し、文化的多様性を尊重する社会の構築をめざした、社会調査を基軸とする先端的な研究活動に取り組んでいます。各種のセミナー・シンポジウム・ワークショップを開催する他、大学院教育支援事業にも注力しています。



産業研究所

産業研究所(産研)は、関西学院大学の社会学系研究所で、大学図書館の3階にあります。経済動向や個別産業に関する調査・研究を行うことを目的として1934年に創設され、80年以上の歴史があります。現在は、①共同研究プロジェクトの運営、調査研究情報の収集・提供、講演会・シンポジウムなどの実施といった研究支援事業、②独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)や産経新聞社、兵庫県など、他機関との連携事業、③欧州連合(EU)に関する教育・研究・情報発信拠点としての事業、を3つの柱として活動しています。



手話言語研究センター

手話言語に関する科学的・学術的研究を通して、手話を言語として学術的に位置づけるとともに、社会的認知度の向上を図ります。聴者・ろう者が協働し、手話言語をテーマとした各種研究の振興、研究者の養成、手話言語教育の推進と充実、広く一般への啓発を日本財団助成のもと行っています。



高等教育推進センター



本学の教育力を強化し、教育の質を高めることにより、本学の教育の一層の充実・発展に寄与することを目的に設置されたセンターです。教育推進に資する施策の企画・立案や教育力向上に関する全学的方針の立案・推進、高等教育に関する政策動向の調査・分析のほか、大学情報（IRデータ）の集約・分析のための各種調査（新入生・在学生・卒業時・卒業生調査等）の実施、学習支援システム（LMS：LUNA、ポートフォリオ）を活用した教育開発・支援を行っています。

大学博物館



創立125周年を記念して、2014年9月28日に、西宮上ヶ原キャンパス時計台に開館しました。学院史編纂室が整理してきた資料を中心とした平常展と、おもに関西学院が所蔵する美術・工芸品や関連する歴史的資料を展示する企画展を毎年各2回開催しているほか、公開研究会も開催しています。これらをととして、社会に開かれた学習支援機関としての役割を果たしていきます。

子どもセンター



子どもセンターでは、地域の子育て親子が集う「地域の子ども・子育て支援事業」、発達に何らかの配慮を必要とする子どものための「発達支援事業」、学生のための教育・研究を支援する「おもちゃとえほんのへや事業」の3つを軸に、乳幼児保育や子育て支援の研究・教育を展開しています。

教職教育研究センター



教員免許や学校図書館司書教諭、博物館学芸員などの資格取得をめざす学生に、必要な科目を提供するとともに、説明会や個別の相談、教育実習や介護等体験のための指導を実施しています。また、2019年4月よりIB教員養成プログラムを新たに開講しています。このほか、学校教育実践のための研究を行い、その成果を『紀要』などで公表しています。

学院史編纂室



130年におよぶ関西学院の歴史を物語る資料（創立以来の公的文書・記録、創立者および学院関係者の諸資料）を収集、整理し、保管しています。また、これらの資料を使って行われた研究の成果を『紀要』『便り』の発行や研究会、講演会の開催により、学内外に発信しています。

人権教育研究室

様々な問題を「人権」の立場からとらえ、研究会の開催、研究雑誌や啓発冊子の発行、人権教育科目の開講、人権問題講演会の企画運営、また人権関係図書・資料の収集、整理など、関西学院大学における人権教育・研究活動を推進しています。

キリスト教と文化研究センター

キリスト教と人間・世界・文化・自然の諸問題に関する総合的な調査・研究を行い、本学のキリスト教主義教育を現代的課題の中で意義あるものとしていくことを目的として活動しています。研究プロジェクトを設置し様々な課題に取り組み、講演会、フォーラム、キリスト教講座等を開催しています。

言語教育研究センター



英語、仏語、独語のインテンシブ・プログラムや選択言語科目などを開講しています。言語・文化に関わる共同研究も行い、英・仏・独・スペイン・中国・朝鮮の6言語に分かれて研究会の開催や研究誌の発行など幅広い研究活動を展開しています。

宗教センター



建学の精神に基づき、「チャペルアワー」をはじめ、「早天祈祷会」「大学合同チャペル」「関西学院クリスマス礼拝」など、さまざまなキリスト教関係プログラムを宗教センターに連なる学生団体とともに実施しています。

共通教育センター

全学の学生を対象に提供する「全学科目」を企画・立案し、運営します。大学での学びへの動機付けや豊かな教養、スキルの習得などを目標とした多彩な科目を提供します。

ライティングセンター

「ライティング科目の運営」と「対面指導」という2つのアプローチから、学生の「書く力」を養成し、論理的思考力や表現能力を身に付けた「自立した書き手」の育成を目指しています。

教育連携室

関西学院の一貫教育を含めた総合学園としての教育連携について、窓口を一本化して、情報集約、情報共有と情報発信を進めます。

日本語教育センター

外国人留学生を対象とした日本語科目の開講、留学生と日本人学生や初等部児童との交流授業・イベントの実施、日本語を教えることに興味がある学生のための日本語教育関連科目の提供をしています。また、日本語教育研究を通じた教育プログラムや教材の開発、講演会などを通じた日本語教育についての啓蒙活動を行っています。

研究推進社会連携機構

研究推進社会連携機構

産官学連携・研究交流の総合窓口として、「研究支援センター」、「知財産学連携センター」、「社会連携センター」、「研究創発センター」の4つのセンターを設置し、研究支援制度の整備、知的財産の管理・活用などを中心とした知的創造サイクルのサポートを行うとともに、社会との連携・地域への貢献活動、研究組織の運営サポートを行っています。

◆ 知的創造サイクルのサポート

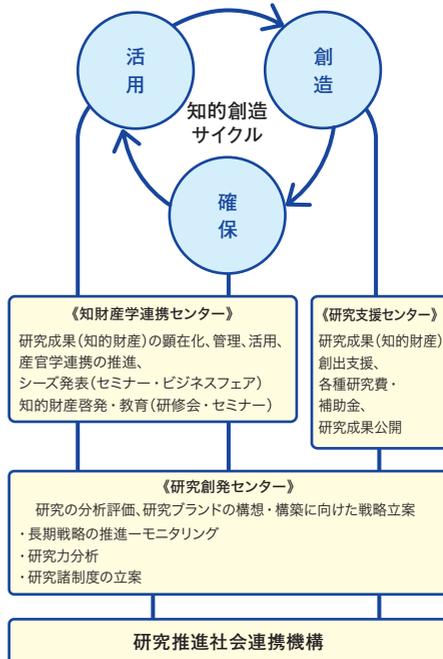
知的創造サイクル(=知的財産の創造・確保・活用)を「研究支援センター」、「知財産学連携センター」、「研究創発センター」が支援します。

研究支援センターは、本学の研究活動の基盤的な支援を行うことを目的として科研費などの研究費管理、研究支援制度の整備を行っています。また「研究倫理基準」を作成するなどして研究費の適正な利用を呼びかけています。

知財産学連携センターは、本学での研究活動により創出された技術・知識等の研究成果(=知的財産)を、産業界との産官学連携、地方公共団体等との研究交流をはじめとした様々な活動を通じて社会に還元し、社会への貢献を果たすことを目的としています。

研究創発センターは、本学の研究力を強化し、研究ブランドを構築することを目的として、研究力の分析・評価や研究ブランドの構想とその構築に向けた戦略立案に取り組んでいます。

産官学連携・知的財産管理体制構築を推進するにあたり、「知的財産ポリシー」を公表し、関西学院大学の「知的財産」を核に産官学連携の推進と新産業創出の実現を目指しています。また、企業や自治体等のニーズと本学研究者の研究内容や成果とマッチングを行うことにより、様々な受託研究や共同研究を推進しています。



◆ 社会との連携・地域への貢献活動

社会連携センターでは、大学の第三の使命と言われる社会貢献活動を基盤としながら、起業文化創出事業、大学間連携事業、高大連携事業、地域との連携を通じた教育プログラムの支援・推進事業を中心に、様々な社会連携活動を行っています。

アントレプレナーシップ 醸成事業	● IPOアントレプレナー 100人創出プロジェクト (アントレプレナー研究会、「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」、 ワークショップ型スタートアップセミナー)
大学間交流事業	● 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 ● 西宮市大学交流協議会
高大連携事業	● 高校生国際交流の集い
地域連携事業	● 兵庫県、西宮市、三田市、宝塚市、神戸市、伊丹市、西脇市、朝来市、丹波市、大阪市、池田市、勝山市、御所市
産学連携事業	● 池田泉州銀行 ● NPO法人国際社会貢献センター(ABIC) ● 神戸新聞社 ● 一般社団法人新経済連盟

◆ 研究組織の運営サポート

産業研究所、災害復興制度研究所、先端社会研究所のほか、各特定プロジェクト研究センターの活動をサポートしています。

主な研究プロジェクト

ワイヤレス電力伝送システムに資する新たな超電導デバイスの創製

理工学部先進エネルギーナノ工学科の尾崎壽紀准教授が名古屋大学、産業技術総合研究所とともに、「ワイヤレス電力伝送システムに資する新たな超電導デバイスの創製」を実施。本研究は「NEDO先導研究プログラム 未踏チャレンジ2050」の採択プログラムであり、自然変動性のない再生可能エネルギーを可能にし、運輸分野の脱炭素化を抜本的に解決するワイヤレス電力伝送システムに資する新たな超電導デバイスの創製を目的としています。関西学院大学はこのなかで、超電導デバイスの新規材料探索を担当しています。

科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム

理工学部人間システム工学科の長田典子教授をサテライト研究リーダーとする「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」がCOI拠点に採択。本事業は、「10年度、どのように『人が変わる』のか、『社会が変わる』のか、その目指すべき社会像を見据えたビジョン主導型の研究開発プログラム」であり、企業や大学だけで実現できない革新的なイノベーションを大規模産学連携研究チームの形成により実現するとともに、革新的なイノベーションを創出するプラットフォームを整備することを目的としています。関学は、慶應義塾大学、明治大学、山形大学を含む8大学21機関との連携により研究拠点を構成し、「自らの感性とデジタル製造が直結し、生活者の創造性が拡張されるファブ地球社会の実現」を目指しています。(2013年度～最大9年間)

科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究(さきがけ)

理工学部化学科の田中大輔准教授を研究代表者とする「ハイスループット合成・評価システムと機械学習の統合による革新的太陽電池材料の探索」が本事業に採択。インクを塗るだけで作製できる塗布型太陽電池は、次世代のエネルギーデバイスとして活発に研究がなされています。本研究ではマイクロデバイスを用いたロボット合成システムとマテリアルズインフォマティクス手法を駆使して超高効率塗布型太陽電池材料の開発を行います。特に、無機半導体ナノ構造が周期的に配列した金属-有機構造体(MOF)の結晶化条件と光物性発現の指針を探索し、革新的な太陽電池材料の提案を目指します。

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色を活かした最先端の研究や地域に根ざした研究などに関する研究基盤の形成を支援するため、文部科学省が優れた研究プロジェクトを選定し、重点的・総合的に補助する事業です。関西学院大学で採択されているプロジェクトは下記のとおり。

- 情動概念の再構築：心理科学の新たな挑戦(応用心理科学研究センター)
- バイスター分子制御による未来型物質変換研究拠点(バイスター分子制御研究センター)
- 歩行における脳活動と筋活動の相関に基づく新しい健康維持促進とリハビリテーション技術の創生(バイオ・ロボティクス研究センター)

特定プロジェクト研究センター

関西学院大学独自の制度で、学際的・革新的共同研究を推進し、研究成果を社会に還元することを目的として、23の研究センターが設置されています。(2020年4月1日現在)

- | | | |
|---------------------|---------------------------|--|
| ・ 応用心理科学研究センター | ・ 島国と海洋文化研究センター | ・ Intelligent Blockchain+ Innovation Research Center |
| ・ 感性価値創造研究センター | ・ 危機言語および地域言語プロジェクト研究センター | ・ アントレプレナーシップ研究センター |
| ・ 政治行動研究センター | ・ 社会情報学研究センター | ・ 世界民俗学研究センター |
| ・ グローバル日本文化教育研究センター | ・ 女性活躍推進研究センター | ・ デジタル・ヒューマニティーズ研究センター |
| ・ 手話言語研究センター | ・ 人工知能研究センター | ・ イノベーション・システム研究センター |
| ・ 社会心理学研究センター | ・ サステナビリティ研究センター | ・ ジェネラティビティ研究センター |
| ・ 技術革新と寡占競争研究センター | ・ 数理・データ科学教育研究センター | ・ 外国にルーツを持つ人への支援研究センター |
| ・ シルクロード研究センター | ・ SDGs・生物多様性研究センター | |

キャリアデザイン・就職支援

◆ キャリアセンターのご案内

関西学院大学ではスクールモットー“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成を目指し、教育・研究活動を行っています。この考え方にに基づき、早い時期から自分の人生観や世界観を養い、社会に対してどのように貢献していくのか、そのためにはどのような職業に就くべきなのかを考える「ライフデザイン・プログラム」を展開しています。

各キャンパスに設置しているキャリアセンターでは学生一人ひとりの希望や悩みをじっくりと聞き、話し合う支援を大切にしています。経験豊富なキャリア・アドバイザーが常駐し、進路選択や就職活動などあらゆる相談に応えます。また、企業が集中する都心には大阪梅田キャンパスと東京丸の内キャンパスがあります。PCの利用、証明書の発行をはじめ、スタッフが企業訪問の心得や移動手段の相談に乗るなど、万全の体制を整えています。

さらに、関西学院大学独自のWebサービス内にある「KGキャリアナビ」では、求人情報やインターンシップ情報、先輩の就職実績や就職活動体験記などの豊富な情報を提供しているほか、学内外で行われるイベント・セミナー情報の検索や個人面談の予約も行えるなど、情報面で学生の就職活動をバックアップしています。

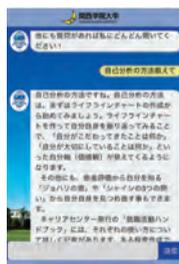
K.G.キャリアチャンネル

「K.G.キャリアチャンネル」は、PC・スマホを使って就活準備講座、業界・仕事研究セミナーを視聴できる関学学生専用コンテンツです。



KGキャリアChatbot

キャリアセンターでは、日本IBM株式会社のAIを導入し、進路や就職に関する学生からの質問に、24時間・365日対応できる体制を整えています。学内や自宅にいる時はもちろん、就職活動時や海外留学中などキャリアセンターに来室できない時でも、スマートフォン・パソコンから質問を入力すれば、回答を得ることができます。過去に関学学生から寄せられた2万5000件以上の質問を学習したAIが、関学学生向けの回答を返してくれます。



◆ ライフデザイン・プログラム

ライフデザイン科目(ハンズオン・ラーニングセンター提供)

自分の生き方、働き方を考える正課プログラム

キャリアゼミ

社会の第一線で活躍する卒業生やビジネスパーソンを講師に迎え、講義やグループワークなどを通して、将来のキャリアについて考えを深めるとともに、社会で活躍するために必要な能力や思考法を、実践的に鍛えています。

霞が関セミナー

将来、国家公務員として中央省庁で働くことに関心のある学生を対象としています。現役官僚の方々を講師に迎え、仕事内容や必要な知識、資質・能力について理解し、将来のキャリアビジョンやアクションプランを描く機会とします。

インターンシップ

社会人の意識や考え方に触れ自らの進路を考える機会

KG枠インターンシップ

関学学生限定・独自内容で実施する「KG枠インターンシップ」。1年生から参加可能で、条件を満たせば「インターンシップ実習」として単位認定も可能です。ほかに、自由応募の「公募型インターンシップ」も設けています。

海外インターンシップ

渡航前研修と現地でビジネス研修を経て、アメリカやベトナムの企業で実務を体験します。現地社員や顧客との交流を通して視野を拡大し、グローバル化・多様化する現代におけるキャリアや職業観を考えます。

キャリア支援プログラム(キャリアセンター提供)

進路の選択から決定までをタイムリーに支援

一日公務員体験

県庁などへ出向き、職員の方による講義や職場見学、政策課題グループワーク、座談会などを通して、公務員の実際の仕事を学び、自らのキャリアプランについて考える体験型プログラムです。

先輩訪問会

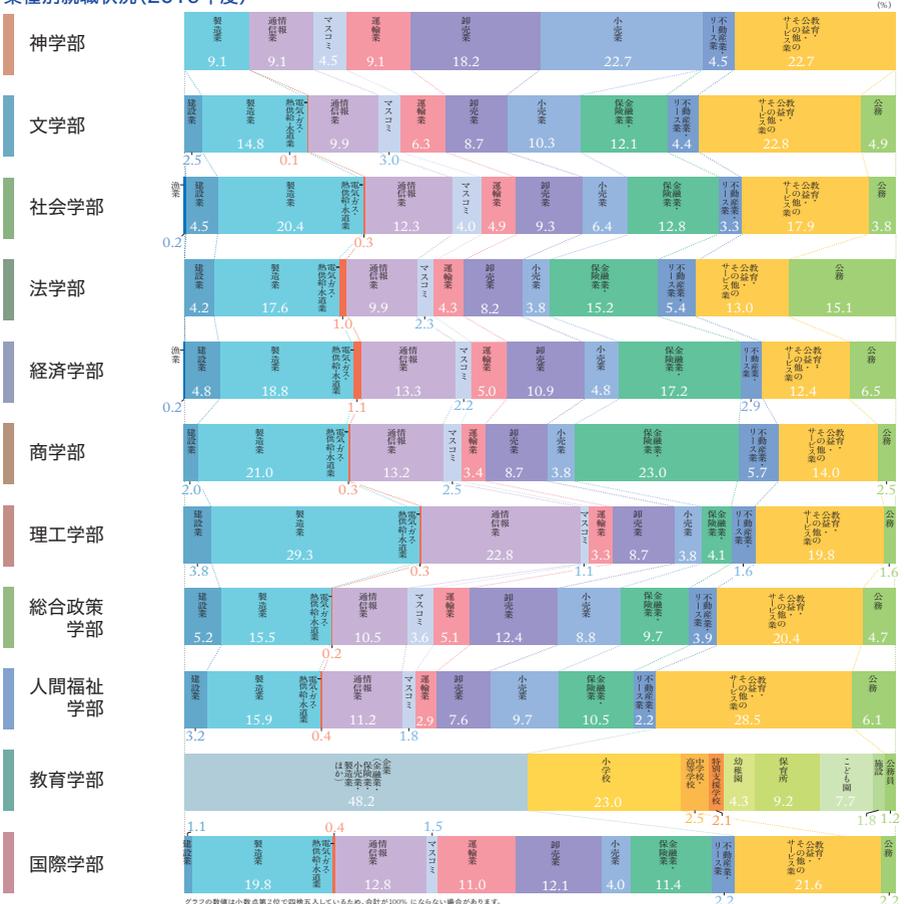
様々な業界で活躍中の若手卒業生が集結し、仕事のやりがい、面白さ、厳しさ等を本音で語る「先輩訪問イベント」です。卒業生ならではの視点で後輩へ就職活動のアドバイスも行います。

関西学院大学の就職実績

◆ 就職率(就職決定者/就職希望者)99.7%の実績

毎年高水準をキープする就職実績。2019年度も、男子99.4%、女子99.9%と、非常に高い就職率となっています。高い学力と豊かな人間性を身につけて巣立った卒業生が、多様な業界の第一線で「世界市民」として活躍しています。

業種別就職状況(2019年度)



2019年度 就職率

	男子	女子	計
全学部 計	99.4%	99.9%	99.7%

就職率=就職者/就職希望者数

<2019年度 大企業比率>

	男子	女子	計
従業員数 1000人以上	57.2%	56.8%	57.0%

企業・団体のみなさまへ

本学学生を対象としたご求人ならびにインターンシップ情報につきましては、「キャリアタスUC」(学校向け求人情報配信システム)を通じてお送りくださいますようお願いいたします。

※詳細はキャリアセンターホームページにてご確認ください。

生涯学習

学び続ける力を — ビジネスパーソン、市民を対象にした生涯学習支援を実践

社会の多様なニーズを的確に捉えながら、伝統ある「国際性」と「ビジネス」など総合大学の強みを活かした豊富な講座を開講しています。

現代の多様なニーズに応えるラインナップ

プログラム名	特徴	場所	
ユニバーシティ 対象	経営戦略講座・ アカウンティング講座	経営戦略研究科の教員が授業で展開している内容をもとに、そのエッセンスを研修プログラムとして提供するものです。 ビジネススクール、アカウンティングスクールへの進学を検討されている方にお勧めの講座です。	大阪梅田キャンパス
	ハッピーキャリアプログラム	職場復帰を希望する育児休業者、再就職希望者を対象にしたコースと、企業のリーダーを目指す者を対象にしたコースにわかれ、キャリアアッププログラムを実施しています。	大阪梅田キャンパス
	丸の内講座	現役官僚などを講師に招き、日本を考えるシリーズとして展開している「エグゼクティブコース」、基礎から応用まで学べる「ビジネスコース」のほか、特別企画コースでは「バラスポーツボランティア養成」、「教養・科学塾」や、イノベーション理論の専門家と実務家講師による「新規事業開発実践塾」など幅広く開講。	東京丸の内キャンパス
	診療所を中核とした 地域医療経営 人材育成プログラム	地域住民にとって一番身近な医療機関である診療所の経営革新、サービス業としての質向上のため、「医療サービス経営」の視点から、経営者として習得すべき基本的な経営マネジメントをはじめ、地域医療に求められるマネジメントスキルの習得を目指すプログラムです。	大阪梅田キャンパス他
	エクステンション プログラム	資格取得に役立つ「日商簿記講座」「宅地建物取引士講座」 「TOEIC® L & R TEST対策講座」など約30の講座を開講。 平日の夕方以降や土曜日を中心に実施。	西宮上ヶ原キャンパス 神戸三田キャンパス 大阪梅田キャンパス
総合対象	科目等履修	大学・大学院の授業科目を履修し、正規の単位を修得できる制度。	※ 西宮上ヶ原キャンパス 神戸三田キャンパス 西宮聖和キャンパス 大阪梅田キャンパス など
	聴講	大学・大学院の授業科目を聴講できる制度。	西宮上ヶ原キャンパス 神戸三田キャンパス など
	リベラルアーツ・プログラム	経済、歴史、文学や国際等様々なテーマごとに学部の授業科目をまとめて提供。	西宮上ヶ原キャンパス 神戸三田キャンパス など
	K.G.ライフワークスクール	社会人のための原則として少人数による連続講座。 春と秋の年2回実施。	大阪梅田キャンパス 西宮北口キャンパス
	梅田講演会	関西学院大学の教員等が身近なテーマで年に数回、無料で講演します。	大阪梅田キャンパス
	オープンセミナー	幅広いテーマで市民向けに開講している公開講座。春と秋の年2回実施。	西宮上ヶ原キャンパス キッピーモール(三田市) 大阪梅田キャンパス
卒業生対象	卒業生就職支援プロジェクト	再就職や転職によりキャリアアップをめざしている人を対象に、教育コンテンツを主体として資格取得・スキルアップを含めて就職を支援。	
	三日月塾	ビジネス界で活躍する関西学院大学の卒業生が講師として、月に1回中堅同窓生を対象に講義します。	東京丸の内キャンパス
	三日月塾 in 大阪		大阪梅田キャンパス
	新月塾	社会人10年目までの同窓生を対象にした勉強会です。	東京丸の内キャンパス

※一部実施していない場合もあるのでホームページで要確認。

学生支援

奨学金制度

関西学院大学独自の充実した奨学金制度で学生生活を経済面からサポートしています。下記のほかにも留学を目指す学生を支援する奨学金を含む多彩な奨学金制度があります。

◆ 主な奨学金制度 (2019年度)

対象	名称	種類
入学時	ランバス支給奨学金	支給
	高大接続奨励支給奨学金	支給
	入学時クレセント奨学金	支給
	入学時貸与奨学金	貸与
2～4年生対象	ランバス支給奨学金(継続採用)	支給
	産学合同育英奨学金	支給
	同窓会奨学金	支給
	クレセント奨学金	支給
	奨励奨学金	支給
全学年対象	就学奨励奨学金	支給
	経済支援奨学金	支給
	特別支給奨学金	支給
	後援会奨学金	支給
	中谷記念奨学金	支給
	ダブルディグリー留学奨学金	支給
	交換留学奨学金	支給
	長期留学奨学金	支給
	中期留学奨学金	支給
	短期留学奨学金	支給
	井谷憲次奨学金	支給
	国際社会貢献活動奨学金	支給
	グローバルリーダー育成[海外大学院派遣奨学金]	支給
利子補給奨学金	支給	
緊急時貸与奨学金	貸与	

学生生活サポート

◆ 総合支援センター

《キャンパス自立支援室》

障がいのある学生の修学・就労支援に取り組んでいます。ノートテイク及びパソコンテイク、点訳教材の提供や対面朗読など状況に応じたサポートを実施。支援には養成講座を修了した学生スタッフが携わっています。



《学生支援相談室》

学生生活でのさまざまな悩みや問題について、公認心理師、臨床心理士等の資格を有するカウンセラーが相談に応じます。「なんでも法律相談」では、卒業生の弁護士が無料で相談に対応。その他、フリールールの開放や性格テスト実施などによって、学生生活を円滑に送れるようサポートします。



◆ 正課外活動

180以上の学術・文化・スポーツの各分野のクラブ・サークルが優れた成績をあげています。大学屈指の実力を持つアメリカンフットボール部のほか、日本で最古の歴史をもつ合唱団「関西学院グリークラブ」などがあります。



◆ 関西学院大学ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室

ヒューマン・サービス支援室では、「学生コーディネーター」と共に、ボランティアの普及と活性化に取り組んでいます。具体的には、
・コーディネーション(学生へのボランティア紹介・相談対応)
・イベント企画・実施(関学生が関わる団体を一堂に集めた合同説明会『ボランティアEXPO』など)
・災害支援(現地ボランティア活動、ボランティアバスの運行など)
という3つを軸に活動を展開しています。

その他、ボランティアをすすめている学生に対して、活動情報の発信のお手伝いや運営について相談にのるなどの形でサポートをしています。



本部

- 内部監査室
- 安全管理室
- 法人部
- 総務・施設管理部
- 人事部
- 財務部
- 総合企画部
- 広報室
- 神戸三田キャンパス事務室
- 聖和キャンパス事務室
- 千里国際キャンパス事務室
- 大阪梅田キャンパス事務室
- 西宮北口キャンパス
- 東京丸の内キャンパス
- 宗教センター
- 教育連携室
- 千刈キャンプ
- 関西学院会館
- 吉岡記念館
- 保健館
- 総合体育館
- 総合図書館
- 学長室
- 高等教育推進センター
- 教務機構
- 学生活動支援機構
- 情報環境機構
- 研究推進社会連携機構
- 国際連携機構
- 国連・外交統括センター
- 高大統括センター
- キャリアセンター
- ハラスメント相談センター
- ボランティア活動支援センター
- 大学図書館
- 産業研究所
- 人権教育研究室
- キリスト教と文化研究センター
- 災害復興制度研究所

- 秘書課
- 法人課
- 校友課
- 総務・施設管理課
- 人事課
- 財務課
- キャンパス担当
- 安全管理室担当
- 理工学部担当
- 総合政策学部担当
- キャンパス担当
- 教育学部担当
- 短期大学担当
- 宗教センター・キリスト教と文化研究センター・人権教育研究室・ボランティア活動支援センター・千刈キャンパス担当
- 神学部担当
- 大学課
- 大学院課
- 言語教育研究センター
- 就職教育研究センター
- 共通教育センター
- 総合支援センター
- 国際教育・協力センター
- 日本語教育センター
- 国際教育・日本語教育プログラム室
- 国連・外交関連プログラム室
- 国連・ESポラニア派遣日本訓練センター
- 国連・ESポラニア派遣日本訓練センター
- 国連・外交関連プログラム室
- 関西学院大学国際機関人事センター
- 国連グローバルコンパクト支援関西学院大学センター
- ヒューマンサービス支援室

- ハンスオ・ラーニングセンター
- ハンスオ教育プログラム室
- ライティングセンター
- スポーツ科学・健康科学教育プログラム室

データ

◆ 役員 (2020年4月)

理事	長	平松 一夫	理事	市川 晃
副理事	長・学長	村田 治	理事	川上 徹也
副理事	長	脇阪 聰史	理事	工藤 稔
理事	・院長	舟木 謙	理事	Mackenzie D. Clugston
常務理事	・事務局長	福中 修二	理事	神余 隆博
常任理事	・副学長	加藤 知	理事	鈴木 篤
常任理事	・副学長	小菅 正伸	理事	武田 政義
常任理事	・副学長	富田 宏治	理事	西名 弘明
常任理事	・副学長	長峯 純一	理事	藤野 隆雄
常任理事	・副学長	柳屋 孝安	理事	村上 一平
常任理事	・副学長	小野 宏	監	澤 敏之
理事	・千里国際高等部校長・中等部校長	井藤 眞由美	監	鈴木 敏之
理事	・高中部長・高等部長	枝川 豊	監	仲尾 彰記
理事	・宗教総主事	嶺重 淑	監	宮本 寛爾
理事	・副学長	日浦 直美		

◆ 学生・生徒・児童数 (2020年5月)

[関西学院大学]

(人)

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	合計()内は男子・女子内数
神学部	28	27	30	37	122(66,56)
文学部	807	775	752	900	3,234(1,126,2,108)
社会学部	646	644	660	778	2,728(1,196,1,532)
法学部	672	662	699	848	2,881(1,652,1,229)
経済学部	702	609	626	936	2,873(1,897,976)
商学部	676	626	609	844	2,755(1,503,1,252)
理工学部	688	664	640	828	2,820(2,030,790)
総合政策学部	569	567	614	748	2,498(1,108,1,390)
人間福祉学部	313	282	302	361	1,258(540,718)
教育学部	367	348	358	394	1,467(414,1,053)
国際学部	322	285	288	354	1,249(392,857)
合計	5,790	5,489	5,578	7,028	23,885(11,924,11,961)

[関西学院大学大学院]

(人)

	前期課程	後期課程	専門職課程	合計
神学研究科	14	4	-	18
文学研究科	68	30	-	98
社会学研究科	27	14	-	41
法学研究科	20	5	-	25
経済学研究科	11	2	-	13
商学研究科	20	5	-	25
理工学研究科	502	22	-	524
総合政策研究科	29	4	-	33
言語コミュニケーション文化研究科	40	12	-	52
人間福祉研究科	17	10	-	27
教育学研究科	11	6	-	17
国際学研究科	6	2	-	8
司法研究科	-	-	77	77
経営戦略研究科	-	18	270	288
合計	765	134	347	1,246

[関西学院高等部・中学部・初等部]

(人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計()内は男子・女子内数
高等部	390	384	369	-	-	-	1,143(710,433)
中学部	252	247	238	-	-	-	737(419,318)
初等部	90	90	93	90	94	90	547(253,294)

[聖和短期大学]

(人)

	1年生	2年生	合計(すべて女子)
保育科	141	133	274

【関西学院幼稚園】

(人)

		合計()内は男子、女子内数
幼 稚 園		215 (110、105)

【関西学院千里国際中等部・高等部・大阪インターナショナルスクール】

(人)

	1年	2年	3年	合計()内は男子、女子内数
千里国際高等部	88	98	96	282 (96、186)
千里国際中等部	68	80	82	230 (96、134)

(人)

	幼児部	小学部	中等部	高等部	合計()内は男子、女子内数
大阪インターナショナルスクール	24	85	69	93	271 (138、133)

◆ 教員数 (2020年5月)

【関西学院大学】

(人)

	教授		准教授		講師		助教		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
神 学 部	6	-	1	2	-	-	2	-	11
文 学 部	48	13	7	-	-	-	2	1	71
社 会 学 部	34	8	3	5	-	-	1	-	51
法 学 部	35	9	4	1	-	-	-	1	50
経 済 学 部	36	4	8	1	3	-	-	-	52
商 学 部	28	5	7	1	-	-	4	-	45
理 工 学 部	72	7	15	3	-	1	-	-	98
総 合 政 策 学 部	35	8	7	3	3	1	-	-	57
人 間 福 祉 学 部	17	8	3	7	-	1	-	-	36
教 育 学 部	21	11	6	3	-	-	1	-	42
国 際 学 院	23	4	-	1	-	-	-	-	28
大 学 部	26	5	6	2	-	-	-	-	39
そ の 他	3	-	3	2	-	-	1	-	9
合 計	384	82	70	31	6	3	11	2	589

【関西学院高等部・中学部・初等部】

(人)

	専任教員(教諭)	契約教員	合計
高 等 部	47	8	55
中 学 部	33	6	39
初 等 部	27	6	33

【関西学院千里国際中等部・高等部・大阪インターナショナルスクール】

(人)

	専任教員	非常勤教員	合計
千里国際中等部、高等部	44	23	67
大阪インターナショナルスクール	33	5	38

【聖和短期大学】

(人)

	教授	准教授	専任講師	合計
保 育 科	6	4	4	14

【関西学院幼稚園】

(人)

	教 諭	契約教諭	嘱託教諭	合計
幼 稚 園	10	6	6	22

◆ 職員数 (2020年5月)

【関西学院】

(人)

専任職員				期限付 契約職員	嘱託職員	合計
専任職員	医療職員	技能職員	教育技術職員			
357	6	1	9	44	51	468

◆ 卒業生数 (2020年3月31日)

[2019年度卒業生・修了者・学位授与数] (人)

学士学位授与数	5,724
修士学位授与数	270
博士学位授与数	27
専門職学位授与数	104
聖和短期大学卒業生数	149

[累積卒業生・修了者・学位授与数] (人)

学士学位授与数	228,323
修士学位授与数	9,845
博士学位授与数	1,114
専門職学位授与数	2,853
聖和短期大学卒業生数	12,479

※1991年6月以前の大学(学部)卒業生数は、学士学位授与数者に含む

◆ 外国人留学生 国・地域別在籍者数 (2020年5月)

[大学・大学院]

国名	大学	大学院	交換・短期留学生	計
アルジェリア	0	1	0	1
アメリカ	2	2	5	9
アルバニア共和国	0	0	1	1
イギリス	0	0	3	3
イタリア	0	0	2	2
インド	0	2	0	2
インドネシア	5	15	2	22
ウガンダ	1	0	0	1
オーストラリア	0	1	0	1
オランダ	0	0	1	1
ガーナ	0	1	0	1
カナダ	2	1	3	6
カメルーン	0	1	0	1
韓国	239	4	1	244
ギニアビサウ	0	1	0	1
ケニア	1	0	0	1
コートジボワール	0	1	0	1
コロンビア	0	1	0	1
サウジアラビア	0	1	0	1
シリア	0	2	0	2
スウェーデン	1	0	0	1
スペイン	0	0	1	1
ソマリア	1	0	0	1
タイ	0	2	2	4
台湾	13	3	12	28
中国	399	121	10	530

(人)

国名	大学	大学院	交換・短期留学生	計
中国(香港)	4	0	0	4
ドイツ	1	0	3	4
ネパール	1	1	0	2
ノルウェー	0	0	1	1
パキスタン	0	1	0	1
フィンランド	1	0	0	1
ブラジル	0	0	1	1
フランス	1	0	4	5
ベトナム	6	5	0	11
ベナン	1	0	0	1
マレーシア	5	0	1	6
モザンビーク	0	2	0	2
南アフリカ共和国	1	0	0	1
ミャンマー	11	1	0	12
メキシコ	0	1	1	2
モンゴル	0	1	0	1
合計	696	172	54	922

◆ 関西学院大学志願者数・合格者数・補欠合格者数・入学者数 (2020年度)

	志願者数	合格者数	補欠合格者数	入学者数
神学部	209	67	11	28
文学部	5,609	2,093	341	807
社会学部	4,297	1,402	134	646
法学部	3,944	1,558	192	672
経済学部	4,086	1,504	42	702
商学部	4,372	1,428	0	676
理工学部	6,648	2,555	319	688
総合政策学部	3,601	1,137	127	569
人間福祉学部	1,917	602	34	313
教育学部	2,208	775	95	367
国際学部	2,057	568	17	322
合計	38,948	13,689	1,312	5,790

(人)

◆ 財務計算書 (2019年度)

[資金収支計算書] (円)

科目	2019年度	
	決算額	構成比
学生生徒等納付金収入	33,693,478,350	50.4%
手数料収入	1,307,543,250	2.0%
寄付金収入	743,655,468	1.1%
補助金収入	4,101,211,953	6.1%
資産売却収入	1,870,000,000	2.8%
付随事業・収益事業収入	1,048,149,770	1.6%
受取利息・配当金収入	442,549,173	0.7%
雑収入	980,112,943	1.5%
借入金等収入	—	—
前受金収入	5,675,857,304	8.5%
その他の収入	1,206,531,016	1.8%
資金収入調整勘定	△ 6,109,605,044	△ 9.1%
前年度繰越支払資金	21,953,306,801	32.8%
収入の部合計	66,912,790,984	100.0%

※四捨五入の関係で構成比の数値合計は一致しない

[事業活動収支計算書] (円)

区分	科目	2019年度		
		決算額	構成比	
教育活動収入	学生生徒等納付金	33,693,478,350	77.8%	
	手数料	1,307,543,250	3.0%	
	寄付金	1,530,690,968	3.5%	
	経常費等補助金	4,092,993,953	9.4%	
	付随事業収入	1,048,149,770	2.4%	
	雑収入	980,112,943	2.3%	
	教育活動収入計	42,652,969,234	98.5%	
	教育活動支出	人件費	22,451,076,058	51.8%
		教育研究経費	14,329,840,877	33.1%
		管理経費	1,408,846,649	3.3%
		徴収不能額等	6,213,424	0.0%
		教育活動支出計	38,195,977,008	88.2%
		教育活動収支差額	4,456,992,226	10.3%
教育活動外収支	受取利息・配当金	442,549,173	1.0%	
	その他の教育活動外収入	—	—	
	教育活動外収入計	442,549,173	1.0%	
	借入金等利息	30,109,459	0.1%	
	その他の教育活動外支出	—	—	
	教育活動外支出計	30,109,459	0.1%	
	教育活動外収支差額	412,439,714	1.0%	
	経常収支差額	4,869,431,940	11.2%	
	資産売却差額	31,921,250	0.1%	
	その他の特別収入	194,524,444	0.4%	
特別収入計	226,445,694	0.5%		
資産処分差額	469,665,273	1.1%		
その他の特別支出	—	—		
特別支出計	469,665,273	1.1%		
特別収支差額	△ 243,219,579	△ 0.6%		
基本金組入前当年度収支差額	4,626,212,361	10.7%		
基本金組入額合計	△ 4,371,169,155	△ 10.1%		
当年度収支差額	255,043,206	0.6%		
前年度繰越収支差額	△ 10,601,088,967	—		
翌年度繰越収支差額	△ 10,346,045,761	—		

(参考)

事業活動収入計	43,321,964,101	100.0%
事業活動支出計	38,695,751,740	89.3%

※事業活動収支計算書構成比は事業活動収入に対する比率

※四捨五入の関係で構成比の数値合計は一致しない

(円)

科目	2019年度	
	決算額	構成比
人件費支出	22,306,597,865	33.3%
教育研究経費支出	10,987,259,081	16.4%
管理経費支出	1,305,371,223	2.0%
借入金等利息支出	30,109,459	0.0%
借入金等返済支出	1,301,200,000	1.9%
施設関係支出	1,589,509,918	2.4%
設備関係支出	1,311,200,974	2.0%
資産運用支出	6,294,773,362	9.4%
その他の支出	3,219,618,153	4.8%
資金支出調整勘定	△ 3,430,654,091	△ 5.1%
翌年度繰越支払資金	21,997,805,040	32.9%
支出の部合計	66,912,790,984	100.0%

※四捨五入の関係で構成比の数値合計は一致しない

[貸借対照表] (円)

科目	2019年度		
	決算額	構成比	
固定資産	有形固定資産	164,845,224,593	87.8%
	特定資産	100,726,897,157	53.6%
	特定資産	52,887,517,517	28.2%
	その他の固定資産	11,230,809,919	6.0%
	流動資産	22,955,965,115	12.2%
資産の部合計	187,801,189,708	100.0%	
固定負債	固定負債	10,757,431,613	5.7%
	流動負債	11,623,572,525	6.2%
負債の部合計	22,381,004,138	11.9%	
基本金	基本金	175,766,231,331	93.6%
	第1号基本金	160,014,915,179	85.2%
	第2号基本金	5,027,833,289	2.7%
	第3号基本金	8,020,482,863	4.3%
	第4号基本金	2,703,000,000	1.4%
繰越収支差額	△ 10,346,045,761	△ 5.5%	
純資産の部合計	165,420,185,570	88.1%	
負債及び純資産の部合計	187,801,189,708	100.0%	

※四捨五入の関係で構成比の数値合計は一致しない

◆ 土地面積 (2020年5月)

西宮・宝塚地域	三田地域	その他地域	合計
397,521.01㎡	1,336,925.44㎡	144,909.83㎡	1,879,356.28㎡

◆ 学外からの研究費導入状況 (2019年度)

	件数(件)	金額(円)
受託研究(継続分含む)	24	196,522,749
学外共同研究(継続分含む)	83	189,259,172
寄付研究等(研究助成分含む)	35	29,834,000
科学研究費助成事業	261	620,587,297
合計	403	1,036,203,218

◆ 募金状況 (2019年度)

	件数(件)	金額(円)
個人	4,197	532,060,981
法人	112	68,570,830
団体	85	138,685,661
合計	4,394	739,317,472

◆ 環境負荷低減の取り組み

関西学院は省エネルギーに配慮した効率のよい設備を導入し、地球温暖化対策に取り組んでいます。キャンパス内には多数の樹木もあり、温室効果ガスを吸収し、環境保全に貢献していると考えられます。

各キャンパスの取り組み

西宮上ヶ原キャンパス

- BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)
- コージェネレーションシステム(560KW)
- マイクロコージェネレーションシステム(25kW×8台)(25kW×4)
- 太陽光発電システム(30kW+11.6kW)
- LED照明化
- ハイブリッドタワー(風力発電・太陽光)
- 高効率照明器具、人感センサー照明器具
- 無電極放電灯(エバーライト)
- 外気冷房システム
- 井水利用したトイレ洗浄水
- 水蓄熱空調システム
- 太陽熱利用温水システム
- 節水器具(洗面器自動水洗器、便器自動洗浄器、疑似音装置)
- 超省エネルギー型ガス焚吸収冷水機(排熱投入型)
- 高効率空調システム

西宮聖和キャンパス

- 節水器具(洗面器自動水洗器、便器自動洗浄器、疑似音装置)
- LED照明化
- 高効率照明器具、人感センサー照明器具
- 高効率空調システム

神戸三田キャンパス

- 太陽光発電システム(50kW)
- 高効率照明器具、人感センサー式照明器具
- LED照明化
- 省エネ型実験空調システム
- 水蓄熱空調システム
- マイクロコージェネレーションシステム(35kW×2)
- 実験冷却水の循環・中水利用
- 無電極放電灯(エバーライト)

宝塚キャンパス

- BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)
- マイクロコージェネレーションシステム(25kW×2台)
- 太陽光発電システム(30kW)
- ハイブリッドタワー(風力発電・太陽光)
- 照明制御管理(人感センサー照明器具含む)
- 無電極放電灯(エバーライト)
- 外気冷房・外気量CO₂制御システム
- 節水器具(洗面器自動水洗器、便器自動洗浄器、疑似音装置)
- 雨水利用
- 超省エネルギー型ガス焚吸収冷水機(排熱投入型)

主な施設

太陽光発電システム

自然エネルギーである太陽光で発電します。CO₂を排出することなく発電するため、極めて環境に優しい発電システムです。

雨水利用

屋根から集水した比較のきれいな雨水をフィルター(SUSメッシュ)でろ過した後、雨水貯留槽に溜めてトイレ洗浄水として利用し、上水の節水を図ります。また、雨水貯留槽は災害時の緊急用水としても利用できます。

BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)

空調設備・衛生設備・電気設備などの建築設備を対象とし、各種センサ、メータにより、室内環境や設備の状況をモニタリングし、運転管理および自動制御を行います。設備管理・エネルギー管理を省力化でき、最適な省エネ運転を計画・実施できます。

ハイブリッドタワー

毎秒13%の風で1010Wの発電が可能な風力と太陽光を利用した小型発電装置。宝塚キャンパスに設置しており「環境モニュメント」として、初等部の児童らが環境に対する理解を深めるきっかけにもなっています。

マイクロコージェネレーション

都市ガスで発電し、その排熱を空調熱源や温水プール、更衣室のシャワー、暖房に有効利用しています。

キャンパス

西宮上ヶ原キャンパス

- 神学部 ●文学部 ●社会学部 ●法学部
- 経済学部 ●商学部 ●人間福祉学部
- 国際学部 ●言語コミュニケーション文化研究科
- 経営戦略研究科 ●高等部 ●中学部



設計は「スバニッシュ・ミッション・スタイル」を基調とし、「伝統」と「未来」が調和した日本でも有数の美しいキャンパスです。地域に開かれたコミュニティスペースの関西学院会館には、レセプションホールやペッツチャペルなどがあり、結婚式としての利用も可能です。

西宮聖和キャンパス

- 教育学部 ●聖和短期大学 ●関西学院幼稚園
- ばぶら保育園



教育学部と聖和短期大学があり、キャンパス内には実習先でもある関西学院幼稚園を配しています。周辺の住宅街にも小学校や保育所、幼稚園が多く、普段から子どもやその保護者とふれあう機会に恵まれています。

神戸三田キャンパス

- 総合政策学部 ●理工学部



総合政策学部と理工学部があり、文理横断が実現されているキャンパス。アウトドア総合メーカー Snow Peakとの協定により、キャンパスの要素を取り入れた新しい学びの場「Camping Campus」の創造に取り組むなど、時代の先端を行く学術拠点にふさわしい最新の施設と自然が調和しています。

西宮北口キャンパス

- 司法研究科 ●文学部心理科学実践センター
- 関西学院クレセントスクール



阪急西宮北口駅に直結した阪急西宮ガーデンズゲート館の7階から10階にキャンパスがあります。7階には、アフタースクールの「関西学院クレセントスクール」などを実施する「NISHIKITA CROSS」と、司法研究科があります。8、9階は司法研究科、10階は「文学部心理科学実践センター」があります。

宝塚キャンパス

- 初等部



初等部のある宝塚キャンパスは、「スバニッシュ・ミッション・スタイル」で統一された校舎の周りを緑で囲み、風や光、自然を感じる空間を実現。校舎の屋上には太陽光発電システムを設置するなど、省エネルギーに配慮した、環境にやさしいエコキャンパス作りに取り組んでいます。

千里国際キャンパス

- 千里国際中等部・高等部
- 大阪インターナショナルスクール



千里国際キャンパスには、関西学院千里国際中等部・高等部、外国人生徒の教育を行う各種学校である関西学院大阪インターナショナルスクールがあります。国際色豊かな環境のもと、多彩な教育活動を展開しています。

大阪梅田キャンパス



大阪梅田キャンパスは、阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アップローズタワー（14階・10階）にあります。経営戦略研究科をはじめ昼夜開講制大学院の授業が数多く開講されています。また、学生の就職活動、生涯学習、各種研究会活動などの拠点として活用されています。

東京丸の内キャンパス



東京駅隣接のサピアタワー10階に東京丸の内キャンパスがあり、学生就職活動の首都圏における拠点、大学の知的資源を活かした学習機会の提供、学会・研究会活動など幅広く活用されています。

関西学院の広報活動

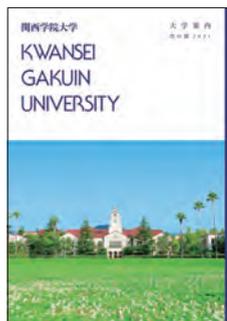
関西学院の動きがわかる刊行物

関学ジャーナル



大学の取り組みや学生の活動、教員の研究などを紹介する在学生と保証人を対象にした冊子。
年4回発行。発行部数は毎年約5万部。

大学案内「空の翼」



入学希望者を対象にしたパンフレット。各学部・学科・その他学生生活に関する情報などを紹介。

関西学院大学公式Instagram

関西学院大学のキャンパスや授業風景、学生の活動の様子など、さまざまな瞬間を写真で紹介しています。



高校生特設サイト「What for Kwansei?」



2019年10月にオープンした高校生向けのWebサイト。関学生の声を通じて、学生の成長や体験、関学の魅力や後輩へのメッセージなどを届けます。



関西学院大学公式Twitter



関西学院大学のニュースやイベントなど、様々な情報を発信しています。



関西学院大学公式Facebook



関西学院大学に関する情報、学生や教職員の活躍、キャンパスの美しい風景などさまざまな情報を発信しています。



関西学院を動画で紹介! 公式Youtube

関西学院大学生のキャンパスライフや各種イベントの様子、教員の研究や学生の学び、留学経験者や海外からの留学生のインタビューなどを中心に動画で紹介しています。QRコードまたは、大学公式ホームページからアクセスしてください。



関西学院のネットワーク

関西学院後援会

関西学院後援会は、学生・生徒・児童等の修学を後援する目的で1947年に設立されました。現在、後援会による事業や活動は、大学の教育方針や現状を直接教員や大学関係者から聞くことのできる大学教育懇談会、保護者交流会各種セミナー、新入生父母歓迎会などの開催、スポーツや文化活動において顕著な功績をおさめた学生・生徒・児童に対して贈る後援会表彰、家計の急変に対応する後援会奨学金などがあります。

関西学院同窓会

卒業生相互の親睦と母校への発展寄与を目的に設立された同窓会は、会員数が24万人を超え、地域支部を国内に91支部、海外に29支部を擁しています。企業やゼミ、クラブなどの公認団体は130を数え、さまざまなかたちで学院の発展に貢献しています。総会や留學生懇親会、同窓生をキャンパスへ招くホームカミングデーなどを実施。年に2回、会報「母校通信」を発行し、関西学院の現状をお知らせしています。

関西学院後援会の主な事業

- 新入生父母歓迎記念事業
- 後援会Webサイト運営
- 保護者交流会
- 卒業生父母記念事業
- 後援会表彰
- 後援会奨学金など
- 「後援会通信」発行
- 保護者向け就職・留学ガイダンス

同窓ネットワーク

海外29支部

ニューヨーク支部	トロント支部	広州支部	クアラルンプール支部	ドバイ支部
シカゴ支部	バンクーバー支部	香港支部	シンガポール支部	イスタンブール支部
シアトル支部	ブラジル支部	台湾支部	インドネシア支部	ドイツ支部
サンフランシスコ・シリコンバレー支部	韓国支部	ハノイ支部	マニラ支部	パリ支部
ロサンゼルス支部	北京支部	サイゴン支部	オーストラリア支部	英国支部
	上海支部	バンコク支部	デリー支部	ベネルクス支部

国内91支部

北海道支部	京都支部	八尾支部	龍野支部	香川支部
東北支部	京都北部支部	柏原支部	赤穂支部	東予支部
茨城支部	奈良支部	松羽藤支部	西脇支部	今治支部
群馬支部	和歌山支部	河内長野支部	小野加東支部	松山支部
栃木県支部	高槻・島本支部	三田支部	加西支部	南予支部
東京支部	茨木支部	川西支部	但馬支部	高知支部
神奈川支部	吹田・摂津支部	宝塚支部	丹波支部	北九州支部
新潟県支部	北摂支部	伊丹支部	丹波篠山支部	福岡支部
長野県支部	枚方支部	尼崎支部	淡路支部	佐賀支部
富土山支部	交野支部	西宮支部	鳥取支部	長崎支部
静岡支部	寝屋川支部	芦屋支部	米子支部	熊本支部
浜松支部	門真支部	学院支部	島根支部	大分支部
富山県支部	守口支部	神戸支部	岡山支部	宮崎支部
石川県支部	大東支部	有馬・北神戸支部	津山支部	鹿児島支部
福井支部	大阪支部	三木支部	広島県東部支部	沖縄支部
名古屋支部	堺支部	明石支部	広島支部	
岐阜支部	いずみ支部	加古川支部	呉支部	
三重支部	関空支部	高砂支部	山口県支部	
滋賀支部	東大阪支部	姫路支部	徳島支部	